

徳島市立考古資料館年報

第25号 (令和4年度)



徳島市立考古資料館

ごあいさつ

令和4年度は公益社団法人徳島市シルバー人材センターが徳島市立考古資料館の管理業務を受託した指定管理期間（令和4年度～令和8年度）の初年度にあたります。

令和4年度は、令和3年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を徹底し、徳島市立考古資料館及び徳島市の文化財の周知と活用を図るべく、考古資料解説会やおさんぽ考古学等の新たな事業を企画・実施いたしました。流行が継続する中、行動制限の緩和等により来館者数が増加傾向にある現状を踏まえ、今後とも市民が安心して地域の歴史・文化財への理解と興味関心を深める事を目的として積極的に活動して参ります。

最後になりましたが、事業活動などにおきまして、ご指導・ご協力などを賜りました関係者の方々に深く感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

徳島市立考古資料館（指定管理者：公益社団法人徳島市シルバー人材センター）

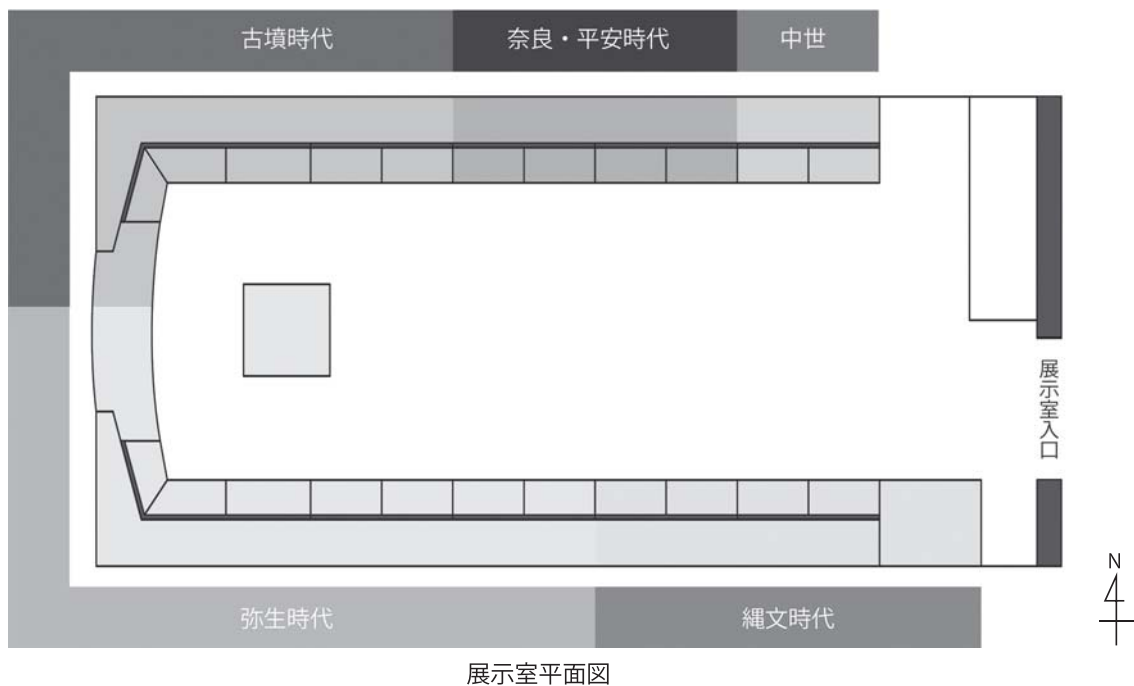
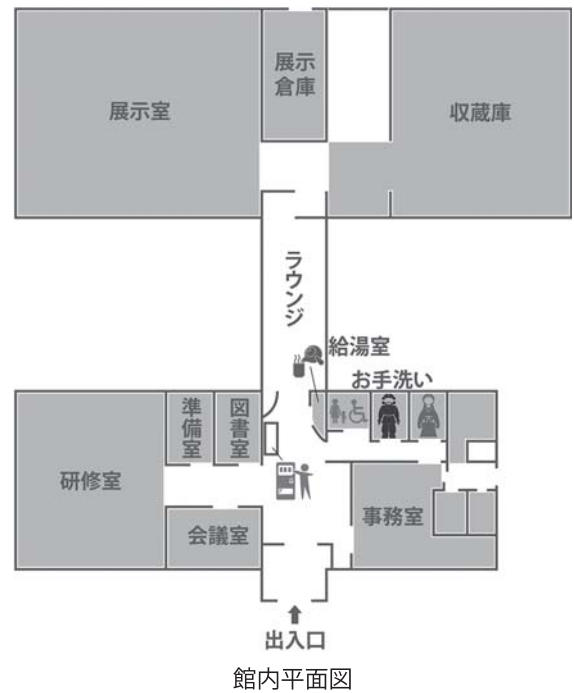
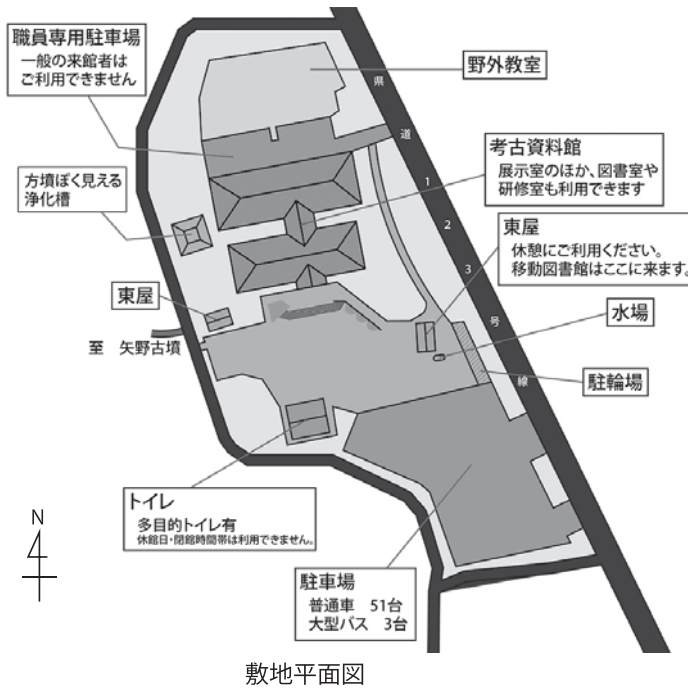
目 次

施設概要	2 ページ
令和4年度実施主要事業	4 ページ
令和4年度実施事業詳細	
常設展示解説会、質問ボックスの設置と回答、遺跡解説シートの作成	6 ページ
考古資料解説会	7 ページ
夏季企画展	8 ページ
特別企画展	9 ページ
特別企画展関連事業	10 ページ
冬季企画展	12 ページ
冬季企画展関連事業	12 ページ
考古資料館講座	14 ページ
とくしま好古楽倶楽部	16 ページ
夏休み子ども好古楽ゼミナール	18 ページ
歴史が薫る徳島市の風景写真展	19 ページ
レキシ・フォト・トクシマ	20 ページ
おさんぽ考古学	21 ページ
一宮城跡〇×クイズラリー	22 ページ
夏休み!おもしろ宿題教室	23 ページ
教員のための考古資料館の日	24 ページ
教育普及活動関連事業	25 ページ
古代ロマンへの旅バスツアー【自主事業】	28 ページ
統計	
月別入館者数	29 ページ
過去5年間の入館者数推移	29 ページ
主要事業来館者・参加者集計	30 ページ
徳島市立考古資料館協議会	
徳島市立考古資料館協議会概要	31 ページ
徳島市立考古資料館協議会委員	31 ページ
令和4年度第1回徳島市立考古資料館協議会	31 ページ
令和4年度第2回徳島市立考古資料館協議会	36 ページ
条例・規則等	
徳島市立考古資料館条例	38 ページ
徳島市立考古資料館条例施行規則	41 ページ
徳島市立考古資料館子供現地学習事業助成金交付規則	42 ページ
書 式	
徳島市立考古資料館研修室等利用承諾申請書	43 ページ
徳島市立考古資料館資料調査申込書	44 ページ
調査研究活動	
阿波国分寺跡出土品の再整理	45 ページ

施設概要

徳島市立考古資料館は「みて、ふれて、つくって、古代ロマンあふれる館」というキャッチコピーをかけた、地元の皆様に愛される資料館として1998(平成10)年に開館しました。

市民が自由に学び、体験することにより、考古資料を通して徳島市の歴史や文化に関する知識と理解を深め、新たな市民文化の創造と郷土への誇りと愛着をたかめるとともに、貴重な文化財を次代に継承していくことをめざしています。



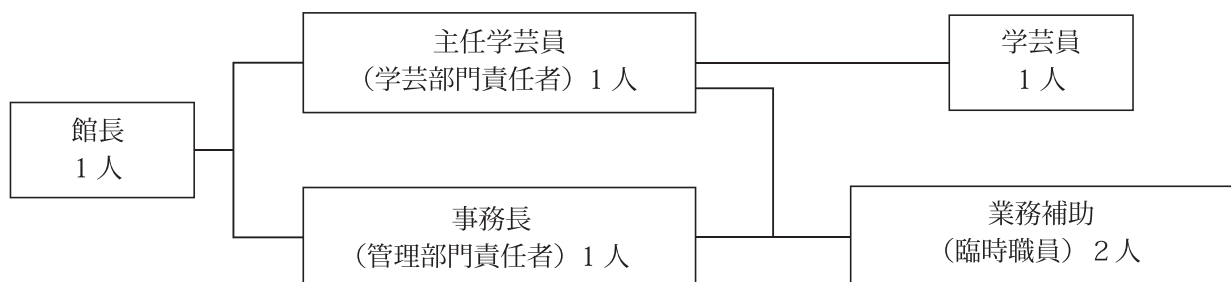
■施設の内容

所在地 〒779-3127 徳島県徳島市国府町西矢野 10-1
 敷地面積 12,523 平方メートル
 建築面積 1047.939 平方メートル
 延床面積 802.5 平方メートル
 建物構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）平屋建

■利用案内

開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）、年末年始（12月28日～1月4日）
 入館料 無料
 アクセス 自家用車：藍住ICから県道1号線を南に進み、国道192号線を西に進む。
 カーナビを使用する場合は電話番号検索にて「0886372526」と入力。
 鉄道：JR徳島線府中（こう）駅下車。南西に約2.7キロメートル。
 路線バス：徳島駅前バス停4番乗り場より徳島バス石井循環線（右回り）[50系統]、鴨島営業所行き又は川島庁舎前行き[51系統]、平島東行き[53系統]、神山高校前行き[56系統]に乗り、鳥坂北（とっさかきた）で下車。下車後、尼寺交差点に進み（東に約30メートル）、尼寺交差点から南に徒歩約1.2キロメートル。
 駐車場 普通車51台（身障者用を含む）、大型バス3台

■管理運営体制



役職名	資格・人的能力
館長	組織の管理運営全般に精通し、総合的マネジメント能力を有する者。
事務長 (管理部門責任者)	学芸業務以外の業務（営業、広報、庶務、施設の維持管理、危機管理等）に精通し総括する者。
主任学芸員 (学芸部門責任者)	学芸員資格を有し、博物館に勤務経験を有する者。
学芸員	学芸員資格を有し、博物館に勤務経験を有する者。

職員名簿（令和4年度）

館長 北島浩一
 事務長 倉佐晃次
 主任学芸員 村田昌也
 学芸員 大栗美菜

令和4年度実施主要事業

- 4月16日(土)
放課後等デイサービス 体験学習
- 4月17日(日)
考古資料解説会 第1回
- 5月3日(火・祝)
おさんぽ考古学 第1回
- 5月5日(木・祝)
常設展示解説会 第1回
- 5月8日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第1回
- 5月15日(日)
考古資料解説会 第2回
- 5月22日(日)
古代ロマンへの旅バスツアー 第1弾
- 5月25日(水)
富田小学校 体験学習
- 5月26日(木)
加茂名小学校 出前授業
- 5月28日(土)
考古資料館講座 第1回
- 6月12日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第2回
- 6月18日(土)
考古資料解説会 第3回
- 6月19日(日)
レキシ・フォト・トクシマ 第1回
- 6月25日(土)
考古資料館講座 第2回
- 6月29日(水)
昭和小学校 出前授業
- 7月1日(金)
城東小学校 出前授業
- 7月10日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第3回
- 7月17日(日)
考古資料解説会 第4回
- 7月20日(水)～9月4日(日)
夏季企画展「徳島墓地ばち歩き 蜂須賀家墓所」
- 7月26日(火)
城ノ内中学校 体験学習
- 7月27日(水)
夏休み子ども好古楽ゼミナール 第1回
- 7月29日(金)
南井上公民館 出前授業
- 7月30日(土)
考古資料館講座 第3回
- 8月3日(水)
夏休み子ども好古楽ゼミナール 第2回
- 8月7日(日)
夏休み!おもしろ宿題教室
- 8月10日(水)
夏休み子ども好古楽ゼミナール 第3回
- 8月11日(木・祝)
常設展示解説会 第2回
- 8月14日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第4回
- 8月19日(金)
放課後等デイサービス 体験学習
- 8月20日(土)
考古資料解説会 第5回
- 8月23日(火)～8月28日(日)
博物館実習
- 8月24日(水)
教員のための考古資料館の日
- 8月25日(木)
放課後等デイサービス 体験学習
- 8月26日(金)
令和4年度 第1回徳島市立考古資料館協議会
- 8月27日(土)
考古資料館講座 第4回
- 9月11日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第5回
- 9月17日(土)～11月27日(日)
特別企画展「黄泉の国へようこそ - 横穴式石室の世界 -」
- 9月24日(土)
考古資料館講座 第5回
- 9月25日(日)
特別企画展 展示解説会 第1回
- 10月2日(日)
特別企画展 展示解説会 第2回
- 10月9日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第6回
- 10月16日(日)
考古資料解説会 第7回
- 10月23日(日)
一宮城跡〇×クイズラリー
- 10月26日(水)
南井上コミュニティセンター 出前授業
- 10月29日(土)
特別企画展 展示解説会 第3回
特別企画展 記念講演会
- 11月1日(火)
南小松島小学校 体験学習
- 11月3日(木・祝)
おさんぽ考古学 第3回
放課後等デイサービス 体験学習
- 11月6日(日)
レキシ・フォト・トクシマ 第2回
- 11月19日(土)
考古資料解説会 第8回
- 11月20日(日)
特別企画展関連ワークショップ
「映像で見る黄泉の国【横穴式石室】ツアー」
- 11月26日(土)
考古資料館講座 第6回
- 11月27日(日)
特別企画展 展示解説会 第4回

- 12月3日(土)
放課後等デイサービス 出前授業
- 12月11日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第8回
- 12月18日(日)
考古資料解説会 第9回
- 12月21日(水)
板東小学校 出前授業
- 12月24日(土)
考古資料館講座 第7回
- 2023年1月5日(木)
四国大学 体験学習
- 1月8日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第9回
- 1月15日(日)
考古資料解説会 第10回
- 1月28日(土)
考古資料館講座 第8回
- 2月4日(土)～3月26日(日)
冬季企画展「徳島市の考古資料 弥生土器の世界」
- 2月5日(日)
冬季企画展 展示解説会 第1回
- 2月12日(日)
とくしま好古楽倶楽部 第10回
- 2月17日(金)
南井上小学校 体験学習
- 2月19日(日)
考古資料解説会 第11回
- 2月23日(木・祝)
冬季企画展関連ワークショップ「弥生土器づくり」 第1回
- 2月25日(土)
冬季企画展 展示解説会 第2回
冬季企画展記念講演会
- 3月5日(日)
冬季企画展 展示解説会 第3回
- 3月11日(土)
冬季企画展関連ワークショップ「弥生土器づくり」 第2回
- 3月12日(日)
冬季企画展関連ワークショップ「弥生土器づくり」 第3回
- 3月19日(日)
考古資料解説会 第12回
- 3月21日(火・祝)
冬季企画展 展示解説会 第4回
おさんぼ考古学 ※第2回を延期したもの
- 3月30日(木)
令和4年度 第2回徳島市立考古資料館協議会

令和4年度実施事業詳細

■常設展示解説会

開催日時

- 第1回 令和4年5月5日（木・祝）
- 第2回 令和4年8月11日（木・祝）
- 各回 11時～12時

場 所

徳島市立考古資料館 展示室

事業区分

展示公開活動事業

概 要

徳島市の歴史・文化財の周知を目的にゴールデンウィークや阿波踊り期間等、来館者の増加が見込まれる時期に常設展示解説会を開催した。

参加者数

延 23 人



常設展示解説の様子①



常設展示解説の様子②

■質問ボックスの設置と回答

事業区分

展示公開活動事業

概 要

考古資料について来館者の疑問に回答するための質問ボックスと回答コーナーを令和3年度から引き続き設置した。



回答コーナー

■遺跡解説シートの作成

事業区分

展示公開活動事業

概 要

常設展示している考古資料が出土した遺跡の解説シートを作成し、市内遺跡の周知と現地見学を促進することを目的として行った。

■考古資料解説会

開催日時

令和4年4月17日（日）から
令和5年3月19日（日）まで
全12回 各回11時～12時

場 所

徳島市立考古資料館 展示室

事業区分

展示公開活動事業

概 要

徳島市の歴史・文化財の周知を目的として月に1回、全12回の考古資料解説会を開催した。

考古資料は常設展示している資料を取り上げた。また、資料によってはハンズオンの手法を取り入れた講座内容とし、参加者が間近に徳島市の考古資料を観察できるようにした。

第6回は台風のため中止した。

参加者数

	男性	男性	女性	女性	合計
	(高校生以上)	(中学生以下)	(高校生以上)	(中学生以下)	
第1回	4	0	3	0	7
第2回	7	0	3	0	10
第3回	10	0	5	0	15
第4回	7	0	5	0	12
第5回	8	1	3	0	12
第6回	台風のため中止				
第7回	10	0	3	0	13
第8回	7	0	3	0	10
第9回	7	0	2	0	9
第10回	7	0	4	0	11
第11回	8	0	3	0	11
第12回	2	0	1	0	3
合計	77	1	35	0	113



考古資料解説（第3回）の様子

考古資料解説会

毎月1回、1種類ずつ考古資料を取り上げ、学芸員が解説する講座です。展示室で実物資料を目の前に考古学の基礎知識や資料の観察ポイントなどをお話します。
考古学や徳島市の歴史・文化財に興味がある方はもちろん、はじめて考古学にふれるという方も大歓迎です！

解説会スケジュール

第1回 4月17日(日) 三谷遺跡の土器	第2回 5月15日(日) 弥生土器	第3回 6月18日(土) 須恵器	第4回 7月17日(日) 装身具
第5回 8月20日(土) 石棒	第6回 9月19日(月・祝) 弥生の祭祀具	第7回 10月16日(日) 貝塚の貝	第8回 11月19日(土) 青銅鏡
第9回 12月18日(日) 渋野丸山古墳の埴輪	第10回 1月15日(日) 木簡	第11回 2月19日(日) 阿波国分寺跡の瓦	第12回 3月19日(日) 中世の陶磁器

- 時間：各回11時から12時まで。
- 会場：徳島市立考古資料館 展示室
- 対象：どなたでも。事前申し込みは必要ありません。
- 受講料：無料
- 入館：マスクの着用・検温・アルコール消毒をお願いいたします。

徳島市立考古資料館

〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷 10-1 TEL 088-637-2526 URL <http://tokushima-kouko.jp>



考古資料解説会ポスター



考古資料解説（第1回）の様子



考古資料解説（第9回）の様子

■夏季企画展「徳島墓地ぼち歩き 蜂須賀家墓所」

会 期

令和4年7月20日（水）から
9月4日（日）まで

開催日数

40日

場 所

徳島市立考古資料館 展示室

主 催

徳島市立考古資料館
徳島市教育委員会

事業区分

展示公開活動事業

概 要

蜂須賀家墓所の歴史的意義の解説及び徳島市の文化財の周知を目的として開催した。また、青少年の自由研究の一環として自発的な遺跡・文化財の現地見学を促す展示や配布物の製作も併せて行った。

展示では万年山墓所で出土した実物資料に加え、新たな試みとして3Dプリンターで作製した墓標・墓碑を展示した。

入館者数

	男性	女性	計
中学生以下	205	175	380
高校生以上	576	481	1,057
合計	781	656	1,437
一日当たりの入館者数			35.9



夏季企画展「徳島墓地ぼち歩き 蜂須賀家墓所」ポスター



展示の様子



3Dプリンターで作製した墓碑・墓標

■特別企画展「黄泉の国へようこそ - 横穴式石室の世界 -」

会 期

令和4年9月17日（土）から
11月27日（日）まで

開催日数

59日

場 所

徳島市立考古資料館 展示室

主 催

徳島市立考古資料館
徳島市教育委員会

事業区分

展示公開活動事業

概 要

徳島県内では飛鳥時代を迎えるころ古墳に横穴式石室が設けられるようになる。本展では矢野の古墳をはじめとした気延山の横穴式石室を持つ古墳を中心に、徳島県内の古墳にみられる様々な横穴式石室を紹介することにより、石室の構造の違いや変化について説明するとともに横穴式石室内に副葬された様々な副葬品について紹介・展示を行う。

入館者数

	男性	女性	計
中学生以下	198	112	310
高校生以上	1,095	956	2,051
合計	1,293	1,068	2,361
一日当たりの入館者数			40.0



特別企画展「黄泉の国へようこそ - 横穴式石室の世界 -」ポスター



展示風景①



展示風景②

展示した資料（パネル展示も含む）

徳島市教育委員会 所蔵

- ・矢野の古墳出土 須恵器
- ・気延山古墳群出土 須恵器
- ・気延山古墳群出土 鉄器類
- ・気延山古墳群出土 玉類
- ・恵解山 10 号墳出土 須恵器



展示風景③

阿南市教育委員会 所蔵

- ・学原剣塚古墳出土 須恵器
- ・学原剣塚古墳出土 玉類
- ・学原剣塚古墳出土 頭椎大刀
- ・学原剣塚古墳出土 鉄器類



展示風景④

海陽町立博物館 所蔵

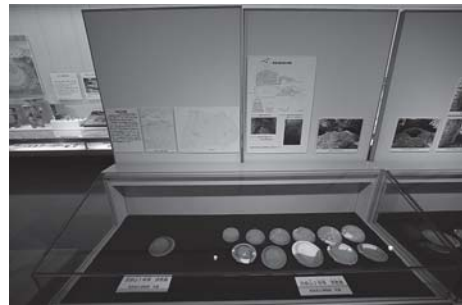
- ・大里古墳出土 須恵器

徳島県立博物館 所蔵

- ・忌部山 1 号墳出土 須恵器
- ・忌部山 2 号墳出土 須恵器
- ・恵解山 5 号墳出土 須恵器
- ・ぬか塚古墳出土 馬鐸（複製品）

美馬市教育委員会 所蔵

- ・段ノ塚穴古墳出土 須恵器
- ・願勝寺 1 号墳出土 須恵器
- ・願勝寺 1 号墳出土 装身具
- ・願勝寺 1 号墳出土 馬具



展示風景⑤

令和 4 年度特別企画展関連事業 展示・現地解説会

実施日時

令和 4 年 9 月 2 5 日（日）・1 0 月 2 日（日）
1 0 月 2 9 日（土）・1 1 月 2 7 日（日）
各回 1 2 時 3 0 分～1 4 時

場 所

徳島市立考古資料館 展示室・矢野の古墳

参加者数

延べ 5 3 人



解説の様子

特別企画展記念講演会「横穴式石室からみた古墳墓の吉野川流域」

実施日時

令和4年10月29日（土）
14時～16時

場 所

徳島市立考古資料館 研修室

対 象

小学生以上



講演の様子

事業区分

展示公開活動事業

概 要

講師として太田宏明氏（河内長野市教育委員会）を招聘し、吉野川流域の横穴式石室を持つ古墳の事例をもとにそのルーツと変遷、横穴式石室の基礎知識についてご講演いただいた。

参加者数

	男性	女性	計
中学生以下	1	0	1
高校生以上	27	8	35
合計	28	8	36

特別企画展関連ワークショップ「映像で見る黄泉の国【横穴式石室】ツアー」

実施日時

令和4年11月20日（日）
14時～16時

場 所

徳島市立考古資料館 研修室

対 象

小学生以上



ワークショップの様子

事業区分

展示公開活動事業

概 要

360°カメラで撮影した各地の横穴式石室をモニターで上映し解説を行うと共に、徳島市の横穴式石室と比較検討することで、より横穴式石室への理解を深めることを目的として開催した。

参加者数

	男性	女性	計
中学生以下	0	0	0
高校生以上	5	6	11
合計	5	6	11

■冬季企画展「徳島市の考古資料 弥生土器の世界」

会 期

令和5年2月4日（土）から
3月26日（日）まで

開催日数

42日

場 所

徳島市立考古資料館 展示室

主 催

徳島市立考古資料館
徳島市教育委員会

事業区分

展示公開活動事業

概 要

徳島市内出土の弥生土器に焦点を当て、土器の形や用途、年代、表面に施された文様など来館者が弥生土器を観察するうえで必要な考古学的知識についてわかりやすく紹介する展示として開催した。

入館者数

	男性	女性	計
中学生以下	111	125	236
高校生以上	490	703	1,193
合計	601	828	1,429
一日当たりの入館者数			34.0

令和4年度冬季企画展関連事業

展示解説会

実施日時

令和5年2月5日（日）・2月25日（土）
3月5日（日）・3月21日（火・祝）
各回13時～14時

場 所

徳島市立考古資料館 展示室

参加者数

延べ31人



冬季企画展「徳島市の考古資料 弥生土器の世界」ポスター



展示風景



展示解説の様子

冬季企画展記念講演会「徳島市の特徴ある弥生土器—出現期の東阿波型土器をめぐって」

実施日時

令和5年2月25日（土）
14時～16時

場 所

徳島市立考古資料館 研修室

対 象

小学生以上



講演の様子

事業区分

教育普及活動事業

概 要

講師として菅原康夫氏（公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター元専務理事）を招聘し、弥生土器の型式・編年等の基礎知識及び鮎喰川流域で製作された地域性の強い東阿波型土器の特徴についてご講演いただいた。

参加者数

	男性	女性	計
中学生以下	0	0	0
高校生以上	25	4	29
合計	25	4	29

冬季企画展関連ワークショップ「弥生土器づくり」

実施日時

- 第1回 令和5年2月23日（木・祝）
13時～16時 【製作】
第2回 令和5年3月11日（土）
10時～12時 【焼成】
第3回 令和5年3月12日（日）
10時～12時 【鑑賞】

場 所

徳島市立考古資料館 研修室

対 象

小学生以上（小学生は保護者同伴）



土器づくりの様子

事業区分

教育普及活動事業

概 要

弥生土器を製作から焼成までの一連の工程を実際に体験する講座。

参加者数

延47人

■考古資料館講座

実施日時

令和4年5月28日(土)から
令和5年1月28日(土)まで
全8回 各回14時～16時

場 所

徳島市立考古資料館 研修室

事業区分

教育普及活動事業

概 要

県内外の研究者を講師として招聘し、
様々な考古学の基礎知識及び地域の遺
跡・文化財の活用等について発掘調査成
果をもとにわかりやすく解説する講座と
して開催した。

参加者数

	男性	男性	女性	女性	合計
	(高校生以上)	(中学生以下)	(高校生以上)	(中学生以下)	
第1回	30	0	5	0	35
第2回	29	1	6	1	37
第3回	31	0	11	0	42
第4回	27	0	9	0	36
第5回	24	0	7	0	31
第6回	15	0	7	0	22
第7回	16	0	4	0	20
第8回	18	0	4	0	22
合計	190	1	53	1	245

第1回 「考古学の世界」

日時 令和4年5月28日(土)
講師 菅原康夫氏 公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター元専務理事

第2回 「横穴式石室入門-黄泉の世界に行く前に-」

日時 令和4年6月25日(土)
講師 村田昌也 当館主任学芸員

第3回 「阿波の城郭-阿波九城を中心に-」

日時 令和4年7月30日(土)
講師 石井伸夫氏 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 主席

第4回 「蜂須賀家墓所《万年山墓所》に見る儒葬墓」

日時 令和4年8月27日(土)
講師 大栗美菜 当館学芸員

考古資料館講座

■第1回「考古学の世界」

講師：菅原康夫氏 鳴門教育大学嘱託講師
日時：5月28日(土) 14時から16時まで

■第2回「横穴式石室入門-黄泉の世界に行く前に-」

講師：村田昌也 当館主任学芸員
日時：6月25日(土) 14時から16時まで

■第3回「阿波の城郭-阿波九城を中心に-」

講師：石井伸夫氏 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館主席
日時：7月30日(土) 14時から16時まで

■第4回「蜂須賀家墓所《万年山墓所》に見る儒葬墓」

講師：大栗美菜 当館学芸員
日時：8月27日(土) 14時から16時まで

■第5回「紀伊の横穴式石室」

講師：河内一浩氏
日時：9月24日(土) 14時から16時まで

■第6回「伊予の横穴式石室」

講師：山内英樹氏 松山市保健所保健予防課
日時：11月26日(土) 14時から16時まで

■第7回「讃岐の横穴式石室」

講師：大久保徹也氏 徳島文理大学文学部文化財学科教授
日時：12月24日(土) 14時から16時まで

■第8回「土佐の横穴式石室」

講師：宮里修氏 高知大学人文社会科学部准教授
日時：2023年1月28日(土) 14時から16時まで

受講料
無料

定員：各回80名(先着順)
※事前申し込みは不要です。
※下記の注意事項を必ずお読み
ください。
場所：徳島市立考古資料館研修室

★必ずお読みください★

- ・マスクの着用・検温・アルコール消毒にご協力ください
- ・当日、体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
- ・今後の状況により講座内容が変更になる場合があります。その際は当館ホームページにて告知いたします。

徳島市立考古資料館
〒779-3127 国府町西矢野字奥谷10-1 TEL088-637-2526



考古資料館HP

考古資料館講座ポスター

第5回 「紀伊の横穴式石室」

日時 令和4年9月24日(土)
講師 河内一浩氏 日本考古学協会会員

第6回 「伊予の横穴式石室」

日時 令和4年11月26日(土)
講師 山内英樹氏 松山市保健所保健予防課

第7回 「讃岐の横穴式石室」

日時 令和4年12月24日(土)
講師 大久保徹也氏 徳島文理大学文学部文化財学科教授

第8回 「土佐の横穴式石室」

日時 令和5年1月28日(土)
講師 宮里修氏 高知大学人文社会科学部准教授



第1回
「考古学の世界」



第2回
「横穴式石室入門 - 黄泉の世界に行く前に -」



第3回
「阿波の城郭 - 阿波九城を中心に -」



第4回
「蜂須賀家墓所《万年山墓所》に見る儒葬墓」



第5回
「紀伊の横穴式石室」



第6回
「伊予の横穴式石室」



第7回
「讃岐の横穴式石室」



第8回
「土佐の横穴式石室」

■とくしま好古楽倶楽部

実施日時

令和4年5月8日(日)から
令和5年2月12日(日)まで
全10回 各回13時～16時

場 所

徳島市立考古資料館 研修室

事業区分

教育普及活動事業

概 要

考古資料から類推される技法や技術について様々な実践や実験を行うことにより、考古学への興味を高め、考古資料館を中心にした年齢や性別を超えたコミュニティづくりを目指した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を20名に設定し、申込みした参加者のみ会場へ入室できるようにしたうえで開講した。会場も対面式の座席配置ではなく講義式の配置をとった。

第7回は雨天のため中止した。

第1回 「鋳造で鏡をつくってみよう」

日 時 令和4年5月8日(日)

第2回 「木簡をつくってみよう」

日 時 令和4年6月12日(日)

第3回 「土器をつくってみよう」

日 時 令和4年7月10日(日)

第4回 「染色(草木染・貝紫)をしてみよう」

日 時 令和4年8月14日(日)

第5回 「勾玉をつくってみよう」

日 時 令和4年9月11日(日)

定員：各回30名
(先着順・要申込)
対象：小学生以上
(小学生は保護者同伴)
◆電話もしくは事務室で直接お申し込みください。
※マスクの着用・検温・アルコール消毒をお願いします。
※当日体調がすぐれない方は参加をご遠慮ください。



第1回 5月8日(日)
13:00～16:00
鋳造で鏡をつくってみよう
申込期間：4/15～
※参加費無料

第2回 6月12日(日)
13:00～16:00
木簡をつくってみよう
申込期間：5/15～
※参加費無料

第3回 7月10日(日)
13:00～16:00
土器をつくってみよう
申込期間：6/15～
※参加費無料

第4回 8月14日(日)
13:00～16:00
染色(草木染・貝紫)を
してみよう
申込期間：7/15～
※参加費無料

第5回 9月11日(日)
13:00～16:00
勾玉をつくってみよう
申込期間：8/15～
※参加費無料

第6回 10月9日(日)
13:00～16:00
矢じりをつくってみよう
申込期間：9/15～
※参加費無料

第7回 11月13日(日)
13:00～16:00
鍛造でペーパーナイフ
をつくってみよう
申込期間：10/15～
※参加費無料

第8回 12月11日(日)
13:00～16:00
土馬(どば)を
つくってみよう
申込期間：11/15～
※参加費無料

第9回 1月8日(日)
13:00～16:00
和風をつくってみよう
申込期間：12/15～
※参加費無料

第10回 2月12日(日)
13:00～16:00
かごをつくってみよう
申込期間：1/15～
※参加費無料

徳島市立考古資料館

〒779-3127 徳島市国府町西矢野字典谷 10-1 TEL 088-637-2526 URL <http://tokushima-kouko.jp>



とくしま好古楽倶楽部ポスター

第6回 「矢じりをつくってみよう」

日 時 令和4年10月9日(日)

第7回 「鍛造でペーパーナイフをつくってみよう」

日 時 令和4年11月13日(日)

※雨天のため中止

第8回 「土馬(どば)をつくってみよう」

日 時 令和4年12月11日(日)

第9回 「和風をつくってみよう」

日 時 令和5年1月8日(日)

第10回 「かごをつくってみよう」

日 時 令和5年2月12日(日)



第1回
「鑄造で鏡をつくってみよう」



第2回
「木筒をつくってみよう」



第3回
「土器をつくってみよう」



第4回
「染色(草木染・貝紫)をしてみよう」



第5回
「勾玉をつくってみよう」



第6回
「矢じりをつくってみよう」



第8回
「土馬をつくってみよう」



第9回
「和風をつくってみよう」



第10回
「かごをつくってみよう」

参加者数

	男性 (高校生以上)	男性 (中学生以下)	女性 (高校生以上)	女性 (中学生以下)	合計
第1回	2	1	6	3	12
第2回	1	2	6	5	14
第3回	3	8	11	6	28
第4回	5	2	12	8	27
第5回	3	8	13	5	29
第6回	4	8	9	5	26
第7回	雨天のため中止				
第8回	2	4	13	3	22
第9回	2	4	7	4	17
第10回	4	2	9	7	22
合計	26	39	86	46	197

■夏休みこども好古楽ゼミナール

実施日時

第1回 「フィールドワーク」

日時 令和4年7月27日(水)

資料館周辺の古墳調査

第2回 「資料調査」

日時 令和4年8月3日(水)

古墳時代の甲冑の資料調査

第3回 「実験考古学」

日時 令和4年8月10日(水)

工作用紙で古墳時代の甲冑を製作

場 所

徳島市立考古資料館 研修室

対 象

小学生4～6年生

事業区分

教育普及活動事業

概 要

従来の体験型学習だけでなく、座学を組み合わせた学習を実施することにより、子供たちが徳島市の歴史や文化財について高度な知識を得る機会にするとともに、文化財を次世代に伝えるにあたりリーダー的存在になる人物を育む機会とすることを目的として開催した。

参加者数


		3年生	4年生	5年生	6年生	合計
第1回 フィールドワーク	男子	0	0	0	0	0
	女子	0	0	1	0	1
第2回 資料調査	男子	1	0	0	0	1
	女子	1	0	1	0	2
第3回 実験考古学	男子	1	0	0	0	1
	女子	0	0	1	0	1
計		3	0	3	0	6

※小学4年生未満の参加希望者が含まれている。

夏休みこども 好古楽ゼミナール

受講生
募集


ぼくが身につけている
カブトを作るよ!



第1回「古墳探検に行こう」

日時：7月27日(水)

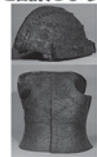
内容：資料館周辺の古墳を歩いて見学し、徳島市の歴史について学びます。



第2回「考古資料を観察しよう」

日時：8月3日(水)

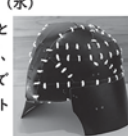
内容：恵解山1号墳から出土した、古墳時代のカブトとヨロイを調査します。



第3回「古墳時代のカブトづくり」

日時：8月10日(水)

内容：工作用紙と紙ひもを用いて、当時と同じ手法で古墳時代のカブトを作ります。




徳島市立考古資料館

〒779-3127
徳島市国府町西矢野字奥谷10-1
TEL 088-637-2526
※開館時間は9時30分から17時です。
※月曜日は休館日です。

★必ずお読みください★

- ・時間：各回とも10時～15時
- ※各自でお昼ご飯の用意をお願いします。
- ・対象：小学生4～6年生
- ・定員：各回10名(先着順・原則3回とも参加できる人)
- ・応募方法：考古資料館に直接またはお電話でお申し込みください。考古資料館HP



夏休みこども好古楽ゼミナールポスター



第2回「資料調査」
恵解山1号墳出土甲冑の調査作成



第3回「実験考古学」
古墳時代の甲冑を工作用紙と紙紐で製作

■歴史が薫る徳島市の風景写真展

実施日時

令和4年4月1日～令和5年3月31日

場 所

徳島市立考古資料館ロビー

事業区分

教育普及活動事業

概 要

市民が感じた徳島市の歴史的、文化的風景写真を集めて写真展を開催することで、新たな来館者層の開拓を図る事を目的として開催した。また、応募作品の写真を通して市民がどのような風景に歴史や文化を感じているのかモニタリングし、今後の徳島市の文化財啓発の参考とする。

応募作品数

令和4年度累計4件



歴史が薫る徳島市の風景写真展ポスター



応募作品① 阿波国分寺で撮影



応募作品② 丈六寺で撮影

■レキシ・フォト・トクシマ

実施日時

第1回 「勾玉を撮る」

日時 令和4年6月19日（日）
10時～12時

第2回 「気延山を撮る」

日時 令和4年11月6日（日）
10時～12時

場 所

第1回 徳島市立考古資料館 研修室
第2回 気延山

事業区分

教育普及活動事業

概 要

徳島市内出土の考古資料や史跡の解説会と写真撮影の技術を学ぶ講座を組み合わせた講座。従来の考古学ファンに加えカメラや写真に興味関心のある新規来館者層の開拓を図った。

考古資料等についての解説は当館学芸員が行い、写真撮影の技術についての講座は上野照文氏（フォトアルテ・グッツィ代表）を講師に招聘した。

参加者数

第1回

	男性	女性	計
中学生以下	0	1	1
高校生以上	6	4	10
合計	6	5	11

第2回

	男性	女性	計
中学生以下	0	0	0
高校生以上	6	5	11
合計	6	5	11



レキシ・フォト・トクシマ

■第1回 「勾玉を撮る」

日時：6月19日（日） 10時～12時
場所：徳島市立考古資料館 研修室・展示室
対象：中学生以上でカメラを持参できる方（カメラの機種は問いません）
定員：15名（先着順）
カメラ講師：上野照文氏 徳島県美術家協会理事・徳島ヴォルティス公式カメラマン
内容：徳島市立考古資料館で展示している実物の勾玉を観察し、撮影してみる講座です。その場で学芸員による解説をおこない、プロの写真家の方に写真撮影のコツを教えてください。

参加費：無料
受付：5月15日より受付開始

★必ずお読みください★

- ・マスクの着用・検温・アルコール消毒にご協力ください
- ・当日、体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
- ・今後の状況により講座内容が変更になる場合があります。その際は当館ホームページにて告知いたします。

徳島市立考古資料館
〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷 10-1 TEL 088-637-2526

レキシ・フォト・トクシマ（第1回）ポスター



第1回 勾玉を撮る



第2回 気延山を撮る

■おさんぽ考古学

実施日時

第1回 「阿波国分寺コース」
日 時 令和4年5月3日(火・祝)

第2回 「阿波国分尼寺跡コース」
日 時 令和4年9月23日(金・祝)
※荒天のため令和5年3月21日(火・祝)に延期、開催

第3回 「気延山古墳群コース」
日 時 令和4年11月3日(木・祝)

場 所

第1回 阿波国分寺跡
第2回 阿波国分尼寺跡(石井町)
第3回 気延山古墳群
(宮谷古墳・城山神社古墳群・奥谷1号墳・矢野の古墳)

事業区分

教育普及活動事業

概 要

資料館周辺の史跡・文化財を活用し、その歴史的価値を周知するとともに、文化財保護の意識を高めることを目的として開催した。

参加者数

第1回

	男性	女性	計
中学生以下	0	0	0
高校生以上	13	7	20
合計	13	7	20

第2回

	男性	女性	計
中学生以下	0	0	0
高校生以上	3	8	11
合計	3	8	11

第3回

	男性	女性	計
中学生以下	0	0	0
高校生以上	9	3	12
合計	9	3	12

おさんぽ考古学

一緒に歩こう!!

■第1回「阿波国分寺コース」

日時：5月3日(火・祝) 10時～11時30分
内容：阿波国分寺境内と庭園を見学します。
事前申し込み：4月1日(金)より受付を開始します。

○対 象：小学生以上(原則として小学生は保護者同伴)
○定 員：各回20名(先着順)
○参 加 費：無料
○集合場所：徳島市立考古資料館

★必ずお読みください★

- ・マスクの着用・検温・アルコール消毒にご協力ください
- ・当日、体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
- ・長距離を歩きます。歩きやすい靴と服装でおこしく下さい。
- ・今後の状況により講座内容が変更になる場合があります。その際は当館ホームページにて告知いたします。

徳島市立考古資料館

〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷10-1 TEL 088-637-2526 URL <http://tokushima-kouko.jp>

おさんぽ考古学(第1回)ポスター



第1回 阿波国分寺コース



第3回 気延山古墳群コース

■一宮城跡○× クイズラリー

実施日時

日 時 令和4年10月23日(日)
9時30分～12時

場 所

一宮城跡 ※現地集合・現地解散

事業区分

教育普及活動事業

概 要

周辺の遺跡や文化財を活用し、その歴史的価値を周知するとともに徳島市の文化財保護の意識を高めることを目的として開催した。

一宮城跡の各曲輪にて一宮城跡に関する○× クイズを出題し、正解者には考古資料館オリジナル缶バッジを渡した。

参加者数

	男性	女性	計
中学生以下	0	0	0
高校生以上	6	10	16
合計	6	10	16

日時：10月23日(日) 9時30分～12時
内容：徳島県で最大規模の中世山城である一宮城跡を歩いて見学します。参加者には考古資料館オリジナル缶バッジをプレゼント！クイズに答えて一宮城をもっと知ろう！

○対 象：小学生以上（原則として小学生は保護者同伴）
○定 員：20名（先着順）
○参 加 費：無料
○集合場所：一宮城跡登山口（一宮神社東側）
※事前申し込みが必要です。10月1日（土）より受付を開始します。

★必ずお読みください★
・マスクの着用・検温・アルコール消毒にご協力ください
・当日、体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
・長距離を歩きます。歩きやすい靴と服装をおこしください。
・今後の状況により講座内容が変更になる場合があります。その際は当館ホームページにて告知いたします。

徳島市立考古資料館
〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷 10-1 TEL 088-637-2526 URL <http://tokushima-kouko.jp>

一宮城跡○× クイズラリーポスター



倉庫跡での出題



小倉丸での出題



本丸での出題



缶バッジ

夏休み！おもしろ宿題教室

実施日時

令和4年8月7日（日）

場 所

徳島市立考古資料館

対 象

徳島市内及び周辺在住の市民

（子ども体験教室は小学生のみ）

事業区分

教育普及活動事業

概 要

学校教育との連携事業として夏休み期間中に開催した。コロナ禍での開催であるため、個人情報登録、マスクの着用、三密の回避等の感染防止対策を行った。また、屋外での体験学習もあるため、熱中症対策の呼びかけも併せて行った。

参加者数

	男性	女性	計
中学生以下	42	38	80
高校生以上	10	33	43
合計	52	71	123

夏休み！おもしろ宿題教室
8月7日（日）9：30～参加費：無料
 ※各体験教室への参加には事前申し込みが必要です。
 ※定員は先着順です。
 ※申し込み受付は7月15日（金）からです。
 ※★印がついている体験学習会は小学生が対象です。

★勾玉づくり 前半 9:30～10:45 後半 10:45～12:00 定員：各50名 場所：野外教室 ※石でけずって作ります。汚れてもよい服装でお越しください。	★習字教室 前半 9:30～10:45 後半 10:45～12:00 定員：各40名 場所：研修室 ※習字道具は各自でご用意ください。	★木工教室 前半 9:30～10:45 後半 10:45～12:00 定員：各40名 場所：野外教室 ※クキヤノコギリを使ってイスを作ります。
★手づくり教室 前半 9:30～10:45 後半 10:45～12:00 定員：各10名 場所：会議室 図書室 ※おもちゃで作って遊びます。	★銅鐸プラ板キーホルダー 13:00～14:00 定員：30名 場所：研修室 ※銅鐸について勉強し、おもちゃプラ板キーホルダーを作ります。	★鋳造体験 14:00～15:30 定員：30名 場所：研修室 ※低融点合金を用いたミニチュア鋳を作ります。

■参加の皆様へ【必ずお読みください】

- ・参加者名簿への登録（氏名・電話番号等）をお願いいたします。
- ・登録した個人情報にはコロナ対策のために使用します。
- ・登録した個人情報は1カ月保管し、その後は速やかに破棄します。
- ・マスク着用・受付時の検温・アルコール消毒・三密の回避にご協力をお願いします。
- ※ただし、屋外では熱中症を防ぐため、マスクを外して作業してください。
- ・熱中症を防ぐため、経口補水液など水分・塩分補給できるものを各自で用意してください。
- ・当日体調不良の方（発熱、咳、のどの痛み、倦怠感等の症状がある）は参加をご遠慮ください。
- ・参加者または家族等に濃厚接触者や感染が疑われる方がいる場合は参加をご遠慮ください。
- ・過去2週間以内に政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合は参加をご遠慮ください。
- ・当館が決めたその他の措置の遵守及び指示に従ってください。

なお、上記の事項に該当することが判明した場合には、参加の取り消しや途中退場を求める場合があります。

徳島市立考古資料館
 〒779-3127 徳島市国府町西矢野宇奥 10-1 TEL 088-637-2526
 考古資料館HP

夏休み！おもしろ宿題教室ポスター



勾玉づくり

	時間	内容	定員	対象
午前の部	前半9:30～10:45 後半10:45～12:00	習字教室	各40名	小学生
		工作教室	各40名	
		勾玉づくり	各50名	
		手作り教室	各10名	
午後の部	13：00～14：00	銅鐸プラ板キーホルダーの製作	30名	小学生
	14：00～15：30	鋳造体験	30名	

■教員のための考古資料館の日

実施日時

令和4年8月24日(水)

9時30分～16時

場 所

徳島市立考古資料館 研修室・展示室
阿波史跡公園

事業区分

教育普及活動事業

概 要

小学校等の教員を対象に、徳島市の文化財資源及び歴史学習のカリキュラムにおける考古資料館の活用について周知と連携を図るきっかけを創出するため実施した。

参加者数

7人



活動の様子

縄文時代
狩猟採集の時代！
徳島の縄文人はどんなものを食べていたの？

弥生時代
お米作りと邪馬台国の女王「卑弥呼」登場！
その時、徳島の弥生人はどこでどんな暮らしをしていたの？

古墳時代
日本最大の前方後円墳は大阪府堺市にある大仙（仁徳陵）古墳！
では、徳島で最大の前方後円墳は？

考古

資料館の日のための

奈良・平安時代
平城京や平安京といった都を造営！
その時、徳島の中心地にはいったい何があったんだろう？

鎌倉・室町時代
武士の時代！
徳島で有名な武士って誰がいるの？

戦国時代
有名武将たちが各地に登場！
徳島では戦って起こったの？その舞台は？

8月24日(水) 9:30～16:00

対象：教員（小学校・中学校等） 定員：30人（先着順）
参加費：無料 申込期間：6月1日(水)～

徳島にはたくさんの遺跡や埋蔵文化財があります。縄文時代から中世までの、地域の歴史や文化財のちょっと面白い豆知識や観察ポイントと一緒に学んでみませんか。
勾玉づくりなどの体験学習や阿波史跡公園内の古墳見学など、徳島市立考古資料館でできることも併せてご紹介します。

徳島市立考古資料館
〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷 10-1 電話番号 088-637-2526
メールアドレス gakupei@tokushima-kouko.jp

考古資料館HP

■プログラム

- 9:30～9:40 **ガイダンス**
- 9:40～10:50 **徳島市の歴史と文化財について（講座）**
- 11:10～12:30 **展示室の見学と考古資料の解説**
- 13:30～16:00 **勾玉づくり等の体験学習会と阿波史跡公園の見学**

■プログラム詳細

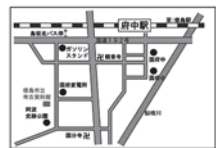
- ・**ガイダンス**
本イベントの趣旨と徳島市立考古資料館の紹介をおこないます。
- ・**徳島市の歴史と文化財について（講座）**
教科書で解説されている通史を踏まえたうえで、発掘調査成果や考古資料をもとに徳島市の歴史について解説します。
- ・**展示室の見学と考古資料の解説**
実際に遺跡から出土した土器や石器などを間近に観察しながら、観察のポイントや展示室での学習について解説します。
- ・**勾玉づくり等の体験学習会と阿波史跡公園の見学**
考古資料館でおこなっている勾玉づくりや火おこしといった体験学習に加え、資料館周辺の古墳見学といったフィールドワークを通した歴史学習を体験してみます。

■申込方法

電話もしくはメールにてお申し込みください。メールの方は資料館ホームページのお問い合わせフォームからお申込みいただけます。

■問い合わせ先

徳島市立考古資料館
住所・電話番号・メールアドレスはチラシ表面に記載しています。お気軽にお問い合わせください。
開館時間：9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日：毎週月曜日と祝日の翌平日
入館料：無料
駐車場：普通車51台、大型バス3台
交 通：(駅) 府中駅から南西に約2.7キロ
(バス) 徳島バス石井・鴨島方面
鳥坂北駅から南に約1.2キロ



教員のための考古資料館の日チラシ

■教育普及活動関連事業

社会科学習など見学受け入れ

考古資料館では小学校・中学校の歴史学習や総合学習などの見学を積極的に受け入れている。学芸員による展示室の解説の他にも矢野古墳の見学や、滑石を用いた勾玉づくり、舞hiri式による火おこし体験など、団体からの要望に応じて実施している。令和4年度は4団体の見学を受け入れた。

また、小学校による見学を積極的に誘致するため、資料館へ来館する際のバス費用の助成を徳島市内と近隣の小学校を対象に実施している（詳細は「徳島市立考古資料館子供現地学習事業助成金交付規則」を参照）。令和4年度は2校に対して助成を行った。

令和4年度の小学校等の団体見学の内訳は以下のとおり。

日付	団体名	バス 助成	人数	内訳	
				男子	女子
2022/05/25(水)	富田小学校	○	40	18	22
2022/07/26(火)	城ノ内中学校		22	7	15
2022/11/01(火)	南小松島小学校		66	30	36
2023/02/17(金)	南井上小学校	○	60	30	30



富田小学校



城ノ内中学校



南小松島小学校



南井上小学校

地域職場体験学習の受け入れ

今年度は新型コロナウイルスの影響により、地域職場体験の申し込みは0件であった。

博物館実習の受け入れ

今年度の博物館実習は1件の申請があった。実習は8月23日(火)～28日(日)の6日間行った。実習内容は須恵器の調査及び写真撮影の実習、教育普及活動事業の指導、3Dスキャナーとプリンターを利用した考古資料の記録保存と活用についての実習を行った。



遺物の写真撮影



遺物の3Dスキャン

体験学習・自由研究への対応

勾玉づくり、火おこしなどの体験学習は学校からの要望に応じているが、他にも様々な団体からの要望にも対応している。団体での体験学習では令和4年度は計5件、延68人の依頼があった。また、個人単位での体験学習では令和4年度は計22件、延84人の体験学習の依頼があった。

出前授業の実施

資料館への来館が困難な団体などに対して、市内の遺跡解説や出土資料の解説、勾玉づくりなど要望に応じて様々な体験学習ができるよう、アウトリーチ型の学習プログラム(出前授業)を用意している。令和4年度は学校・学校外の団体から7件の要望があった。

【学校・学校外への出前授業】

- ・加茂名小学校 令和4年5月26日(木)
- ・昭和小学校 令和4年6月29日(水)
- ・城東小学校 令和4年7月1日(金)
- ・南井上公民館 令和4年7月29日(金)
- ・南井上コミュニティセンター 令和4年10月26日(水)
- ・放課後デイサービス 令和4年12月3日(土)
- ・板東小学校 令和4年12月21日(水)



加茂名小学校



南井上コミュニティセンター

考古資料館ボランティア

実施日時

令和4年4月1日～令和5年3月31日

場 所

徳島市立考古資料館

事業区分

教育普及活動事業

概 要

考古資料館で実施する事業のうち、主に体験学習について企画・準備・指導、小学校の見学への対応を行ってもらった。また、今年度は調査研究活動事業である「阿波国分寺跡出土品の再整理」でも共同で活動した。この調査研究活動への参加は令和5年度も継続して行う。

新規のボランティアの募集だが、令和4年度も引き続きボランティアを募集し、3名の登録があった。

延活動者数

155人

	男性	女性	合計
ボランティア活動延人数(4月)	8	7	15
ボランティア活動延人数(5月)	11	11	22
ボランティア活動延人数(6月)	7	7	14
ボランティア活動延人数(7月)	8	6	14
ボランティア活動延人数(8月)	4	9	13
ボランティア活動延人数(9月)	6	7	13
ボランティア活動延人数(10月)	6	2	8
ボランティア活動延人数(11月)	3	1	4
ボランティア活動延人数(12月)	6	3	9
ボランティア活動延人数(1月)	7	5	12
ボランティア活動延人数(2月)	6	9	15
ボランティア活動延人数(3月)	6	10	16
令和3年度累計	78	77	155



体験学習指導の様子①



体験学習指導の様子②



体験学習の事前実験



小学校の体験学習での指導

■古代ロマンへの旅バスツアー

実施日時

令和4年5月22日（日）
8時～17時30分

場 所

石清尾山古墳群・屋嶋城跡
(香川県高松市)

対 象

小学生以上（小学生は保護者同伴）

事業区分

自主事業

概 要

株式会社阿波観光と共同で企画し実施した全2回のバスツアー。歴史や文化財、博物館事業に興味関心を高めるうえで重要となる市内や県内の遺跡、博物館施設を中心に、県外の事例も含めた現地解説型のバスツアーを開催した。

第1回目は香川県高松市に所在する屋嶋城と石清尾山古墳群を見学し、古代山城と東四国に分布する積石塚について学ぶことを目的として開催した。

第2回目は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

参加者数

	男性	女性	計
中学生以下	0	0	0
高校生以上	10	6	16
合計	10	6	16

古代ロマンへの旅バスツアー

屋嶋城と 第1弾!

石清尾山古墳群

香川県高松市に所在する古代山城である屋嶋城（やしまのき）と積石塚で構成された石清尾山古墳群を巡るバスツアーです。

■スケジュール

8:00 考古資料館出発

9:30～ 石清尾山古墳群到着・見学

12:00 石清尾山古墳群出発

12:30～ 屋嶋城到着・お昼休憩

14:00～ 屋嶋城見学

16:00 屋嶋城出発

17:30 考古資料館到着

※当日の交通状況等により到着時間が前後する可能性があります。

日程：5月22日（日）
8:00～17:30

定員：30人（先着順）
費用：1人6500円※当日支払い

☆必ずお読みください☆

■4月15日（金）から受付を開始します。申し込みは考古資料館の開館時間内（9:30～17:00）に電話もしくは事務室で直接お申し込みください。

※4月15日以前のお申し込み、また、開館時間外のお申し込みは受付できませんので、ご了承ください。

※電話にてお申込みいただく方は、電話が繋がりにくい状況が発生する場合があります。ご了承ください。

※必ずツアーに参加されるご本人か、そのご家族の方がお申し込みください。ご友人同士・団体でのお申し込みはお断りさせていただきます。

■傾斜地及び長距離を歩きます。トレッキングシューズなど歩きやすい靴と服装でご参加ください。

■昼食は各自で事前にご用意ください。お昼休憩をとる峰山公園に飲食店はございません。


■参加者はマスク着用・検温・アルコール消毒をお願いします。また、当日に体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。

※企画：徳島市立考古資料館・阿波観光バスサービス株式会社

徳島市立考古資料館

〒779-3127 徳島市国府町西矢野字奥谷 10-1 TEL 088-637-2526

考古資料館HP



古代ロマンへの旅バスツアー（第1回）ポスター



石清尾山古墳群の見学

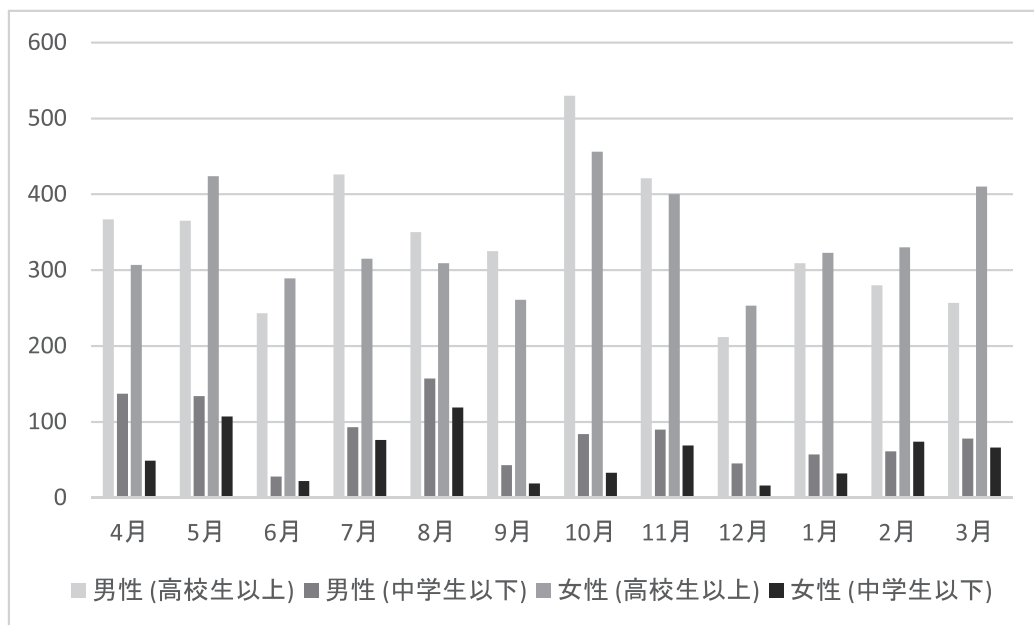


屋嶋城跡の見学

統計

月別入館者数

	開館日数	男性	男性	女性	女性	合計	一日平均
		(高校生以上)	(中学生以下)	(高校生以上)	(中学生以下)		入館者数
4月	26	367	137	307	49	860	33.1
5月	25	365	134	424	107	1,030	41.2
6月	26	243	28	289	22	582	22.4
7月	27	426	93	315	76	910	33.7
8月	25	350	157	309	119	935	37.4
9月	24	325	43	261	19	648	27.0
10月	26	530	84	456	33	1,103	42.4
11月	24	421	90	400	69	980	40.8
12月	23	212	45	253	16	526	22.9
1月	23	309	57	323	32	721	31.3
2月	22	280	61	330	74	745	33.9
3月	26	257	78	410	66	811	31.2
計	297	4,085	1,007	4,077	682	9,851	33.2
一日平均入館者数		13.8	3.4	13.7	2.3	33.2	



過去5年間の入館者数推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男性(高校生以上)	5,104	4,432	3,010	3,152	4,085
男性(中学生以下)	1,717	1,827	901	791	1,007
女性(高校生以上)	5,554	4,953	2,834	2,882	4,077
女性(中学生以下)	1,365	1,219	564	545	682
合計	13,740	12,431	7,309	7,370	9,851
一日平均入館者数	45.1	41.3	26.8	26.5	33.2

統計

主要事業来館者・参加者集計

事業名	令和4年度	令和3年度
夏季企画展	1,437人	1,178人
	40日 35.9人/日	48日 24.5人/日
特別企画展	2,361人	2,238人
	59日 40.0人/日	56日 39.9人/日
冬季企画展	1,429人	1,081人
	42日 34.0人/日	46日 23.5人/日
考古資料館講座	245人 全8回	—
特別企画展記念講演会	36人	60人 全2回
冬季企画展記念講演会	29人	28人
とくしま好古楽倶楽部	197人全10回【内1回を中止】	144人 全10回【内2回を中止】
夏休み!おもしろ宿題教室	123人	—
夏休みこども好古楽ゼミナール	延6人 全3回	延9人 全3回
考古資料解説会	113人 全12回	—
レキシ・フォト・トクシマ	22人 全2回	31人 全2回
おさんぽ考古学	43人 全3回	—

徳島市立考古資料館協議会

徳島市立考古資料館協議会概要

徳島市立考古資料館条例第16条に則り、考古資料館協議会を設置、7人の学校教育、社会教育の関係者及び学識経験者が徳島市教育委員会より協議会委員に任命されている。

今年度は令和4年8月26日（金）と令和5年3月30日（木）に開催した。

徳島市立考古資料館協議会委員

会長	中村 豊 氏	徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授
副会長	須藤茂樹 氏	四国大学文学部日本文学科教授
委員	菅原康夫 氏	公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター元専務理事
委員	湯浅利彦 氏	元徳島県立博物館長
委員	宮内初恵 氏	徳島市国府小学校校長
委員	杉本恭介 氏	徳島市加茂名中学校校長
委員	板東恵子 氏	徳島市社会教育委員長

令和4年度第1回徳島市立考古資料館協議会抄録

I 日 時 令和4年8月26日（金）12:50～15:10

II 場 所 徳島市立考古資料館 研修室

III 出席者 協議会 中村会長・須藤副会長・菅原委員・宮内委員・杉本委員・板東委員・湯浅委員
教育委員会 岡田課長補佐・山口管理係長・宮城主査・板東主事・奥村主事・河田主事
考古資料館 北島館長・倉佐事務長・村田主任学芸員・大粟学芸員

IV 内 容

1 市民憲章唱和

2 あいさつ（岡田課長補佐・中村会長）

3 議題

(1) 令和4年度 徳島市立考古資料館事業計画（資料1）

(2) 令和4年度 徳島市立考古資料館主要事業概要報告（資料2）-令和4年4月1日から令和4年8月11日まで-

(3) その他

V 主なご意見

令和4年度事業計画及び令和4年度主要事業概要報告等に関して、各委員より様々なご意見をいただきました。主な内容は次のようなものでした。

（◇＝委員のご意見 ◎＝考古資料館・社会教育課の回答）

◇ 常設展示図録の刊行時期についてですが、令和5年度末になるのでしょうか。

◎ 文化財係と内容を協議のうえ、令和5年度末を期限に刊行を予定しています。

◇ 常設展示図録の作成は重点課題②関連事業（※）の一つとありますが、重点課題②について、今回いただいた資料の中で示されていますか。

◎ お渡しした資料『令和4年度事業計画』の中には重点課題②の内容についての記載はありません。

※考古資料館重点課題

① 市民ニーズを的確に把握することにより、市民が求める事業を企画し、積極的に取り組むことで、考古資料館と市民をつなぎ、市民が親しむ開放的な施設とする。

② 郷土の文化財を次世代に継承し、幼少期よりその価値に対する理解を深めるとともに、青少年の豊か

な感性の育成に資するために、学校に対する働きかけを強化するなどにより、青少年の学びの場として活用する施設とする。

③ 徳島市内に所在する様々な歴史・文化遺産の価値を市民に啓発し、市民が共有するために、市民ボランティアを活用したフィールドワーク等の実施を通じて、事業成果を市民に還元する仕組みを推進する施設とする。

◇ 以前に提出された指定管理申請関連の資料には記載がありましたが、ポイントとなる事業は参照したいので、その都度に記載していただければと思います。

◎ はい。

◇ イベント関係の参加について、当日受付の先着順といった形で行っていますが、事前申込の枠を外したのでしょうか。

◎ 常設展示解説会、考古資料解説会、考古資料館講座については当日受付としておりますが、その他の体験学習等のイベントに関しては事前申込で受け付けています。

◇ 体験学習等はコロナ禍以前から事前申込制だったと思うので、全体として従前の受講体制に戻したということでしょうか。

◎ はい。

◇ 特別企画展図録等の啓発資料についてですが、特別企画展図録を500部印刷しているとありますが、どのような活用をしていますか。

◎ 一般配布を除いた200部については資料借用先や次に資料を借りる施設などに実績として送るほか、予定として国立国会図書館、県立図書館などの施設に寄贈を考えています。

◇ 今伺った範囲の配布先であれば、ストックはそれなりの数になりそうですが、県内外の文化財施設等への配布は行っていないのでしょうか。

◎ 現在、定期的に送っている施設はありません。

◇ 指定管理とはいえ、考古資料館は公の施設ですので、活動内容をアピールするためにも、県内外の文化財施設に配布するなどして、積極的に活用していただければと思います。また、「徳島県内出土石棒集成図録」についてですが、これは令和3年度の特別企画展の関連図録として刊行されたとのことですが、発行が令和4年となっているのは何故でしょうか。

◎ 令和3年度の特別企画展は予定していた近畿地方での資料借用が新型コロナウイルス感染症の影響で難しくなったため、急遽借用を県内だけに限定し、それに伴い展示内容も大きく変更しました。そのため当初構想していた図録の内容も大幅に変更しなければならなくなり、展示に注力するため、図録の発刊は断念しました。ただ、特別企画展図録分の発行予算が残っており、特別企画展準備で県内出土石棒資料も揃っていたので、啓発資料という形で集成図録を発刊しました。

◇ そういうことであればなおさら、資料館の事業内容や企画の狙いなどを広く、特に県内の文化財関係の機関や個人に知ってもらうことが重要だと思いますので、図録の活用方法を検討していただきたいです。行政的な視点で見た場合、特別企画展の時期でない発刊である以上、何を目的とした図録であるかを明確に示す必要があると思います。

◇ 資料館発行の図録や図書資料の配布についてですが、学校などの教育機関には送っているのでしょうか。

◎ 資料館年報に関しては資料館の取り組みを知ってもらうことを目的に市内の小中学校に送付しています。ただ、企画展の図録やパンフレットなどは過去に一、二度送った程度にとどまっています。

◇ 先の委員の意見はとても大切なことだと思います。文化財関係機関のほかに教育関連施設にも配布していただきたいと思うのですが、図録やパンフレットも部数が限られていると思います。それなら、まず市内の小中学校、高校の図書室には配るべきだと思っており、報告書のような専門性が高いものなら高校以上とか、児童向けの企画展パンフレットなら小学校のみなど、資料の内容によって配布の効果を考え、配布先を何通りかのパターンに仕分けて送るようにしてはいかがでしょうか。企画展のポスターやチラシの送付も同様でニーズに合った施設に費用対効果も考慮して送るのが肝要かと思います。

◇ 今年度の特別企画展は県内の横穴式石室がテーマとなっていますが、資料館の企画展で取り上げる主題を設定するときにはどのような根拠や視点に基づいて行っているのでしょうか。

◎今年度から指定管理4期目に入りますが、今期の特別企画展は常設展の各コーナーで掲げられているテーマを深く掘り下げて紹介するというのが5年の指定期間を通してのコンセプトとなっています。今回の特別企画展では常設展の横穴式石室の世界という小テーマに基づき、県内の横穴式を持つ古墳を取り上げています。

◇特別企画展のテーマ選定はどのタイミングで行うのでしょうか。3期の指定期間中に開催された特別企画展で取り上げることのなかったテーマも多いと思うのですが、そういった取りこぼされたテーマを拾い上げて企画展をすることはないのでしょくか。

◎特別企画展のテーマの選定は指定管理申請時に提出する5ヶ年の事業計画立案時に大枠を設定しています。またご意見のとおり、取りこぼしているテーマはいくつもあります。今期の特別企画展のテーマ選定は、一昨年にリニューアルした常設展を活かし、補填する形を基本としています。

◇では今期の特別企画展のテーマ選定は概ねできているということでしょうか。

◎はい。

◇これまでに行われてきた特別企画展を見てきて感じるのですが、テーマの選定に統一感がないというか、資料館で所蔵している資料や調査研究などの他事業とうまく連動していない印象を受けます。また、調査研究活動で今年度は阿波国分寺の出土資料の再整理を行うとのことですが、調査研究活動は指定管理者にとって自主性、独自性の活かせる目玉事業だと思います。前指定管理期に掲げられていた調査研究活動の気延山古墳群調査は最終的にどうなったのでしょうか。

◎調査当初は分布調査に主軸をおいて現地での踏査、観察を行っていたのですが、私が観察調査した限りにおいて、新たな知見は得られませんでした。後は以前に国府小学校から寄贈していただいた気延山出土の考古資料を図化し令和3年度年報に掲載したものが最終の報告となります。

◇これまでの協議会での報告の中で、気延山古墳群の調査研究活動の一環として特別企画展「宮谷古墳」、冬季企画展「奥谷1号墳」が取り上げられたと記憶していますが、今回の国分寺に係る調査研究もその成果を企画展に反映されるのでしょうか。

◎国分寺の企画展は5ヶ年の中で計画しています。

◇国分寺資料の再整理に係るボランティア活動の実績を見るに後半になるにつれ参加者数が微減しているようすが。

◎コロナ禍のため、参加を見送るボランティアがいるためです。ボランティアグループの熱量が下がったものでは無いと考えています。

◇今年度の事業計画を見るに展示公開、教育普及と実に盛り沢山の事業内容で、傍目から見てもオーバーワーク気味に映りますので、企画展と調査研究活動をリンクさせて効率的に事業を進めるなど、ある程度事業内容を整理、仕分けして進める必要があるように感じます。

◇教員の委員に質問なのですが学校側で児童たちに資料館活動の紹介などは行っているのでしょうか。

◇資料館からチラシやポスターなどの広報資料が回ってきたときに担当が伝えているようすが。また新型コロナウイルス感染症の影響で学校の活動も委縮しがちですが、前向きに行動することが今は必要だと感じます。

◇資料館での取り組みと学校とをどうリンクさせていくかを考えていたのですが、今の中学生に考古学への関心や興味がどれほどあるかと問われた場合、正直大きな期待はできないのが実情だと感じます。資料館の企画展チラシやパンフレットを生徒に渡しても、それで資料館に訪れるかというやはり難しく、多様な価値観や新たな技術、情報に溢れている昨今、どのようにすれば従来からある伝統や文化に生徒たちの関心を向けさせることができるのかは課題だと思います。資料館でも企画展や体験学習など、様々な努力をされていますが、生徒が自主的に資料館に足を運ぶには相当の動機づけが必要だと感じます。また、出前授業を頼むにしても様々なカリキュラムで既に埋まっており、総合学習というコマも週1時間ありますが、そこにも余裕はありません。ただ、個人で資料館へとなると先ほど述べたように、相応の動機が必要なのですが、当校の場合、体育館建設時に遺跡が見つかり、多くの遺物が出土したと聞きます。自分の住む身近な場所にある遺跡ということで関心を寄せる生徒もいると思います。ただ、これも個別の要因となるため他校の生徒に普遍的に通じる事象ではありません。教育の現場では熟さなければならぬ多数のカリキュラムがあって、その現状で資料館利用を学校教育とどのようにリンクさせていくのかというのが大きな課題となっているよ

うに思います。他校での話ですが、以前遠足で資料館を利用させていただいたことがあり、そのときの生徒たちはとても楽しんでいました。少ないながらもそういった機会を逃すことなく、次の来館につなげ、生徒たちに考古学や徳島の伝統や文化の魅力を伝えることで、一人でも多く生涯にわたる学習のきっかけになれば何よりだと思います。

◇ 私は大学で社会科学の教員養成コースで考古学を教えています。考古学は地域の古い歴史でとても大事であり、専門的に学ばなくても先生になったときに地域の埋蔵文化財を活かして子どもたちを指導してほしいと学生に伝えています。そういった理念でいろいろと実践的に学生を教えています。教員を目指す学生には食いつきが良く、考古学専攻の学生を教えているわけではないので、そういった手法をとっています。先ほど委員の意見にあった課題についてですが、青少年の学びの場としての資料館の積極的利用などの実現は資料館側の努力だけでは無理な話で、教育委員会が主導して資料館利用のプログラムを立てて、活用するためのメニューをつくる必要があると考えます。兵庫県にある考古博物館の例ですが、設立時のコンセプトに地域の埋蔵文化財を学校教育でどのように活用するかというのが組み込まれていて、子どもたちへの啓発方法とか体験学習メニューなどを考古の専門家ではなく、学校現場の教員の7名ほどが主となって研究し、学校や教育委員会と議論をしながら進めていて、例えば夏休み期間なら小学生向け、高校生向けのメニューをこしらえ、今では30パターンほどのメニューがあるとのこと。これぐらいしなければ考古学や文化財に愛着を感じ、次世代につながる人材の育成は難しいと感じます。資料館のような職員数の限られた施設では出前授業一つ行うのも大変なわけで、教育委員会が郷土教育、文化財愛護精神の普及に必要な事業に関し、他機関とも協力しながら支援していく必要があると思います。

◎ 学校側で考古学の活用などに取り組んでいただいても単発で終わったり、主導していた先生が異動することでまたふりだしに戻ったりで、長期的な視点で考古学や地域に興味を持ってもらうことができていないのが現状です。委員からいただいた意見のように教育委員会全体でカリキュラムを組めれば一番良いと思いますが、すぐに実現できるかといえば、いろいろと調整の必要な課題でもありますので、教育委員会の中で検討していけたらと思います。埋蔵文化財は地域とつながりの深い分野でもあり、地域教育、地域連携の一環で学校教育に組み込んでいけるのではと考えています。まち歩きなどのフィールドワークを通して、子どもたちに地元の歴史や地域の文化を知ってもらうイベントなどを定期的に行い、資料館、学校、教育委員会全体でも地域学習の機会を提供できればと考えています。

◇ 私は高校の教員をしていたことがあるのですが、そのときに勤めていた高校に土器などの遺物をかたどった教材用の模型があり、その模型に交じって本物の土器や埴輪片も紛れ込んでいました。理由を聞くと生徒が地元で拾った遺物を持ち込んだからということでした。その高校周辺には史跡や大学の埋文調査室があったので、見学を兼ねたまち歩きを企画し、生徒960人にまち歩きのチラシを配ったところ、生徒10名、先生8名の応募がありました。文化財に興味関心があっても積極的に活動する子は少ないとは思いますが、潜在的なニーズは必ずあると感じました。文化財関連の仕事に就いていたとき、中学生向けの文化財の教材に関連する情報を整理、総合教育センターのホームページ上に掲載していますので、部分的にでも活用していただければありがたいと思います。中学校にお勤めの委員の話にありました体育館建設時に出てきた出土遺物についてですが、一部でも中学校で展示しているのでしょうか。

◇ いいえ。

◇ 私が高校の教員をしていたときの話ですが、土器などの考古遺物のいくつかを市教委から借用し、図書室にあるガラスケース内に展示していました。数点ではありましたが、興味をもってくれる生徒もいたり、社会科学の先生がその遺物を授業で使ったりで活用していて、私が離れた今も継続展示中だそうです。それに関連して思ったのですが、体育館建設で出土した土器を借用展示すれば、身近な場所で出た大昔の遺物ということで興味を持つ生徒も出てくるのではないのでしょうか。

◇ 体育館建設後にその中学校を異動してしまい、遺物がどうなったかは分かりませんが、20年ぶりに当該校に戻りましたので確認しておきます。体育館建設当時は遺跡の発掘調査をしているとのことなので何が出るのか、生徒や先生も興味津々だったと記憶していますが、建つてしまえば関心は薄れてしまいました。今回委員を受けるにあたり、いただいた資料に目を通して知ったのですが、勤務校の校区が大きな遺跡包蔵地に指定されているとのこと、生徒たちに自分の家が遺跡の上に建っていると教えたら興味を持つ生徒も出て

くるかもしれません。興味を抱くには些細なことでも何かきっかけとなることが必要で、そこで何かしらの楽しみを見つけることができれば先へと進めるのではないのでしょうか。

◎ 市内中学校の文化祭のときにその中学校の校区内の遺跡から出土した遺物を校内に展示したことがあり、文化祭参加者に興味を持って見てもらえたとのことでした。そういった出張展示を何かのイベントなどに合わせて行い、少しでも地域文化に目を向けてもらう取り組みも必要だと感じました。また、公的な施設ならば考古資料の貸出も可能ですので、検討いただければと思います。

◇ 数日前の新聞のアンケートで徳島県民の県に対する意識が全国最下位だったと出ており、大変残念に感じました。郷土に対する意識を高める取り組みはとても大事であり、どこから取り組んでいくかということですが、それぞれの学校、それぞれの地域で根付いた歴史はあると思うので、それらを掘り起こすことが大事だと思います。

◇ 考古学者にならなくても考古学的な物事が身近にあると常識として知っていることが大切だなと感じます。教科書に載っている古い歴史は京都や奈良の話で、徳島は関係ないと思っている子どもも多くいます。そういった子どもたちに考古学的な歴史は京都や奈良だけではなく、身近にあるものだと知ってもらう環境を整えることが学校や資料館の活動として大切なのではないのでしょうか。

◇ 街並みも昔と今では大きく変わっています。私が子どものころと今でも大きく様変わりしました。過去があるから現在があるわけですから、変わり行く街の姿を何らかの形でとどめておくことも必要だと感じます。

◇ 先の委員の話で思い出したのですが、県立博物館が「八万を歩こう」という冊子を出していて、博物館ボランティアと協力して地域の歴史を調査し、まとめて作ったそうです。そこで思ったのが、学校の校区ごとにそれぞれ歴史があるので、地域の歴史の概要と寺社、史跡、遺跡などの文化財を掲載したガイドマップ的なものを作ってはいかがでしょうか。どこが主体となって作るかは別として、そういったものがあれば身近な地域や文化財への取っ付きとなるのではないのでしょうか。また、考古資料館周辺のガイドマップも同様に作ってみてはと思います。

資料館協議会と同じ趣旨の他の会に出席したことがあるのですが、そこでもやはり今回同様郷土の啓発が議題にあがっていました。そこで出された郷土史教育の一環としての施設見学については参加した教職員全員、総論では賛成なのですが、実際個別に施設に見学に来てくれるかとなるとカリキュラム消化で多忙であったり、遠方で交通の便の問題であったり、参加者の安全であったりで来館は難しいとなります。郷土教育は大切だし、学習指導要領に資料館博物館を見学することの重要性は記されていますが、様々な要因で難しいようでこれも大きな課題であると思います。とりあえずは出来ることから着実にこなしていくことが必要ではないのでしょうか。そういった機会の提供についてですが、鳥居龍蔵記念博物館のフォーラム発表で聞いた話ですが、工業系高校の生徒が埋蔵文化財センターで行われていた遺跡の発掘体験に参加したことで考古学に目覚めて、史学を学ぶために進路を変えたとの体験が語られていました。つまり、子どもたちの目覚めるきっかけはあちこちにあるわけで、そういった関心の芽を摘んではいけないので、いろいろな選択肢があることを小中学校のころに伝えることはとても大切なことだと思います。

令和4年度第2回徳島市立考古資料館協議会抄録

I 日 時 令和5年3月30日(木) 13:30~14:30

II 場 所 徳島市立考古資料館研修室

III 出席者 協議会 中村会長・須藤副会長・菅原委員・板東委員・宮内委員・湯浅委員
教育委員会 伊東課長・岡田課長補佐・山口管理係長・堤主査・宮城主査・板東主事
考古資料館 北島館長・村田主任学芸員・大粟学芸員

IV 内 容

1 市民憲章唱和

2 あいさつ(伊東課長・中村会長)

3 議題

(1) 令和4年度徳島市立考古資料館主要事業概要報告(資料1)

(2) 令和5年度徳島市立考古資料館事業計画(案)(資料2)

(3) その他

V 主なご意見

令和4年度主要事業概要報告及び令和5年度事業計画(案)に関して、各委員より様々なご意見をいただきました。主な内容は次のようなものでした。

(◇=委員のご意見◎=考古資料館・社会教育課の回答)

◇今年度の事業についてですが、協議会で出た様々な意見を取り入れ、多様な事業を行っている印象を受けました。

次年度の夏季企画展「古墳クエスト in 徳島」についてですが、今年度の特別企画展「横穴式石室の世界」とのつながりなども含めて、どのような内容になるのか教えてください。

◎ 特別企画展「横穴式石室の世界」では徳島の横穴式石室を持つ古墳をテーマにした展示を行ったのですが、来館者からは「うばのふところ古墳」「樋口古墳」などアクセスの難しい古墳の石室内の写真を見ることができてよかったとの意見をいただきました。今回の特別企画展では横穴式石室がテーマだったため、取り上げていない古墳も多く、次年度の夏季企画展では埋葬施設の形式にこだわらず、普段訪れることのできない古墳を含めた市内の古墳全般を紹介する展示を行いたいと考えています。

◇では「横穴式石室の世界」で扱った古墳が「古墳クエスト in 徳島」でも再度紹介されるのでしょうか。

◎ はい。ただ「古墳クエスト in 徳島」は夏休みの児童を主な対象としているため、古墳とは何なのかといった基本的な知識、数世紀にわたる築造の中で古墳の外形、埋葬施設の構造などがどのように変遷を経たのかなど、古墳に係る基礎的な知識を市内の古墳を例にして分かりやすく紹介できればと考えています。

◇連続性のある企画展ですので「横穴式石室の世界」で培った成果が生かされるよう、期待しています。

◎ はい。いただいたご意見を取り入れ、良い企画展に仕上げて行きたいと思います。

◇秋の特別企画展「阿波国分寺跡・国分尼寺跡を探る」に関する質問です。これまで資料館で行ってきた調査研究を基にした企画展とのことですが、阿波国分寺をテーマとした考古資料館講座は来年1月27日となっていて時期的な差がありますが、これは何か意図している事があるのでしょうか。

◎ 資料館でボランティアを交えて行っている阿波国分寺跡の出土した瓦の再整理の中で、これまでに紹介されていない新しい資料がいくつも見つかっており、秋季特別企画展ではそれらを展示できるよう現在整理を進めています。

1月に行う考古資料館講座ではそれらも踏まえて2年間にわたるボランティアを交えた国分寺跡の資料調査研究の結果報告を行い、令和5年度の館報には調査研究成果をまとめたものを載せる予定です。

◇ ある意味途中経過の目立った成果を特別企画展で紹介し、全体の成果報告を年度末に行うということでしょうか。

◎ はい。そうなります。

◇ そうであるなら講座などのタイトルにそういった経緯が分かるような工夫をされたほうが良いように思います。

◎ ご意見ありがとうございます。館内で検討したいと思います。

◇ 質問が2件ありまして、一つは入館者数についてですが、昨年博物館法が改正され、またコロナ自粛も緩和されることになりましたので、今後の事業活動の目標を立てるに当たり、入館者数の推移が大まかな指標となると思われます。そこで今年度の入館者数とコロナ前の令和元年、コロナ禍中の令和3年と比べ、どのように推移しているか教えてください。

もう一つは来年度末発刊予定の常設展示図録についてですが、どのくらいのページ数のものか、販売するのか、販売するのであれば価格などはどのくらいを考えているのか教えてください。

◎ 入館者数の推移からお答えします。令和元年度は開館日数が300日、入館者数が12,400人となり、令和2～3年度はコロナ禍中のため行動制限があり、開館日数は270～280日程度、入館者数は約7,300～7,350人、コロナ前と比べ60%程度となっています。令和4

年度はコロナによる休館はありませんでしたが行動制限は残っていましたので2月末計9,040人となっています。最終は9,800人ほどを見込んでおります。

◎ 常設展示図録についてですが、カラー刷りで40ページ、1,000部ほどの印刷数を考えてます。図録の頒布については市内小中学校等には無料頒布を行いますが、一般の方にも有償頒布を予定しており、価格帯は現在印刷費高騰のため確約はできないのですが、800円から1,000円を考えています。

◇ 常設展示図録についてさらにお聞きますが、どのような層を主たる対象に据えて構成しているのでしょうか。

◎ 基本的には小中学生でも読みこなせる内容とし、各章に小コラム的な項を設け、そこではより専門的な解説を行う形での構成を考えています。

◇ 学校との連携事業の小学校向けのバス助成についてですが、今はコロナで利用が少ないと思いますが、コロナ前にはどの程度利用されていましたか。予算があると思うので予算以上の利用はないと思いますが、利用率等が分かるのであれば教えてください。

◎ 予算は150,000円です。利用に関してはこの10年で150,000円を超えたことはありません。

◇ 以前出席した他施設の会議で学校関係者に博物館施設への来館を促したところ、交通費助成についての言及がありましたので、お聞きしました。他施設では予算が足りないほどの利用があったので、予算が足りているのであれば、もう少しアピールする必要があるのではないのでしょうか。需要はきっとあると思います。

◇ これまでは小学校としてもコロナ対策で活動が制限されていましたが、コロナが収まりつつある今後、制度の周知が進めばバス助成利用を希望する小学校は増えると思います。また魅力的な体験講座、イベント等もたくさん企画されていますので、それらも併せてアピールしていただければ、より来館する子どもたちも増えると思います。

◇ 博物館法が改正され、その関連で補助メニューが出てくることが予想されます。未確定な点も多いのですが、それなりに期待できる内容にはなりそうなので、教育委員会との協議のうえでそういった制度の利用も考えてみてはいかがでしょうか。

○徳島市立考古資料館条例

平成10年6月24日

条例第26号

改正 平成20年6月30日条例第20号

平成24年3月29日条例第14号

令和5年3月28日条例第15号

(設置)

第1条 本市は、市民の教育、学術及び文化の創造と発展に寄与するため、考古資料館を設置する。

2 考古資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 徳島市立考古資料館

位置 徳島市国府町西矢野10番地の1

(一部改正〔令和5年条例15号〕)

(事業)

第2条 徳島市立考古資料館(以下「考古資料館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

(1) 原始・古代を中心とした考古資料等に関する実物、複製、模写、模型、文献、写真、図表、フィルム等の資料(以下「考古資料館資料」という。)を収集、保管及び展示すること。

(2) 考古資料館資料の利用者に対し、必要な説明、助言、指導等を行うこと。

(3) 考古資料館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。

(4) 考古資料館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。

(5) 考古資料館資料に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等を主催し、又は奨励すること。

(6) 他の博物館、図書館、公民館、学校等の教育、学術又は文化に関する諸機関との連携及び相互協力を行うこと。

(7) その他前条の設置目的を達成するために必要な事業

(指定管理者による管理)

第3条 考古資料館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせる。

(全部改正〔平成20年条例20号〕)

(指定管理者が行う業務)

第4条 指定管理者は、次に掲げる業務を行う。

(1) 第2条各号に掲げる事業に関する業務

(2) 第6条の承諾に関する業務

(3) 考古資料館の維持管理に関する業務

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

(全部改正〔平成20年条例20号〕)

(休館日及び供用時間)

第5条 考古資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは除く。)

(2) 休日の翌日(休日の翌日が日曜日、土曜日又は休日になるときは除く。)

(3) 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

2 考古資料館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

3 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前2項の規定にかかわらず、教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(全部改正〔平成20年条例20号〕)

(利用の承諾)

第6条 考古資料館の研修室及び付属設備(以下「研修室等」という。)を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の承諾を受けなければならない。

2 学術研究等のため、考古資料館資料の撮影、模写、模造等(以下「特別利用」という。)を行おうとする者は、指定管理者の承諾を受けなければならない。

3 指定管理者は、前2項の承諾に考古資料館の管理上必要と認められる条件を付することができる。

(全部改正〔平成20年条例20号〕、一部改正〔令和5年条例15号〕)

(利用の承諾の制限)

第7条 指定管理者は、次のいずれかに該当するときは、研修室等の利用の承諾をしない。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) 研修室等及び考古資料館資料を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) 営利を目的として使用すると認められるとき。

(4) 考古資料館の事業の実施に支障があると認められるとき。

(5) その他公益上又は管理上適当でないと認められるとき。

(一部改正〔平成20年条例20号・令和5年15号〕)

(特別利用の承諾の制限)

第8条 指定管理者は、次のいずれかに該当するときは、考古資料館資料の特別利用の承諾をしない。

- (1) 考古資料館資料の保存に悪影響が生じると認められるとき。
- (2) 他の入館者の観覧に支障があると認められるとき。
- (3) その他公益上又は管理上適当でないと思われるとき。

(一部改正〔平成20年条例20号・令和5年15号〕)

(利用料金)

第9条 第6条第1項の承諾を受けた者は、指定管理者に研修室等の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。

- 2 利用料金の額は、別表に掲げる額の範囲内において指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める。
- 3 利用料金は、第6条第1項の承諾の際に納入しなければならない。ただし、指定管理者が特に必要があると認める場合は、この限りでない。
- 4 利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。

(追加〔平成20年条例20号〕)

(利用料金の不還付の原則)

第10条 既に納入した利用料金は、返還しない。ただし、指定管理者が特別の事由があると認める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(追加〔平成20年条例20号〕)

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、市長が別に定める基準に従い、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(追加〔平成20年条例20号〕)

(入館の拒否等)

第12条 指定管理者は、次のいずれかに該当する者に対しては、考古資料館への入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 騒音を発し、暴力を用いる等他人に迷惑をかけるおそれがあると認められる者
- (2) 考古資料館の施設、付属設備及び考古資料館資料を損傷するおそれがあると認められる者
- (3) 感染性の疾患があると認められる者
- (4) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑をかけるおそれがあると認められる物品又は動物を携行する者
- (5) その他考古資料館の管理上支障があると認められる者

(追加〔平成20年条例20号〕、一部改正〔令和5年条例15号〕)

(利用等の承諾の取消し)

第13条 指定管理者は、研修室等の利用の承諾を受けた者及び考古資料館資料の特別利用の承諾を受けた者(以下「利用者」という。)が、次のいずれかに該当するときは、その利用及び特別利用(以下「利用等」という。)の承諾を取り消し、又は制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 第7条各号又は第8条各号のいずれかに該当するに至ったとき。
- (2) 利用等の承諾に付した条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により利用等の承諾を受けた事実が明らかになったとき。
- (4) この条例、この条例に基づく規則若しくは教育委員会規則又はこれらに基づく命令に違反したとき。

(一部改正〔平成20年条例20号・令和5年15号〕)

(原状回復の義務)

第14条 利用者は、その利用等が終わったとき又は前条の規定により利用等の承諾の取消し等の処分を受けたときは、直ちに原状に回復し、指定管理者の係員の点検を受けなければならない。

- 2 利用者が前項の義務を履行しない場合は、指定管理者がこれを代行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(一部改正〔平成20年条例20号〕)

(損害賠償等の義務)

第15条 考古資料館の施設、付属設備又は考古資料館資料を滅失し、損傷し、又は汚損した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(一部改正〔平成20年条例20号・令和5年15号〕)

(考古資料館協議会)

第16条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、考古資料館に徳島市立考古資料館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。
- 3 協議会は、委員7人以内で組織する。
- 4 協議会の委員の任期は2年とする。ただし、補欠の協議会の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、特別の事由のあるときは、同項の期間中においても協議会の委員を解任することができる。

- 6 協議会の委員は、再任されることができる。
- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。
 (一部改正〔平成20年条例20号・24年14号・令和5年15号〕)
 (教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。
 (一部改正〔平成20年条例20号〕)

附 則
 (施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。
 (平成10年9月規則第45号により、平成10.10.1から施行。ただし、第3条から第14条までの規定並びに附則第2項及び第3項の規定は、平成10.11.21から施行)
 (徳島市都市公園条例の一部改正)

- 2 徳島市都市公園条例(昭和32年徳島市条例第10号)の一部を次のように改正する。
 (「次のよう」は省略)

(非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

- 3 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和43年徳島市条例第3号)の一部を次のように改正する。

(「次のよう」は省略)

附 則(平成20年6月30日条例第20号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。
 (準備行為)

- 2 この条例による改正後の徳島市立考古資料館条例(以下「改正後の条例」という。)第3条に規定する指定管理者の指定及びこれに係る手続その他この条例を施行するために必要な行為は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前においても行うことができる。

(経過措置)

- 3 施行日前において、この条例による改正前の徳島市立考古資料館条例(以下「改正前の条例」という。)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、改正後の条例の相当規定によってしたものとみなす。

- 4 前項の規定にかかわらず、施行日前において、改正前の条例第4条第1項の利用の承諾を受けた者であつて、施行日以後に利用するものに係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成24年3月29日条例第14号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月28日条例第15号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第9条関係)

(一部改正〔平成20年条例20号・令和5年15号〕)

1 研修室利用料金

利用料金の額	1時間につき300円(全日利用は、2,100円)
--------	--------------------------

2 付属設備利用料金

種別	利用料金の額
ビデオデッキその他	1件につき100円

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島市立考古資料館条例（平成10年徳島市条例第26号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(施設等の利用の手続)

第2条 条例第6条第1項の規定により、考古資料館の研修室及び附属設備（以下「研修室等」という。）を利用しようとする者は、徳島市立考古資料館研修室等利用承諾申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、利用しようとする日（その日が引き続き2日以上に及ぶときは、その初日をいう。以下「利用日」という。）の3月前から当日までの間に提出しなければならない。ただし、指定管理者がこれらの期間によりがたい特別の事情があると認めるときはこの限りでない。

3 指定管理者は、研修室等の利用を承諾したときは、徳島市立考古資料館研修室等利用承諾書を交付するものとする。

(一部改正〔平成20年教委規則17号〕)

(利用の取消及び利用内容の変更)

第3条 研修室等の利用の承諾を受けた者（以下「利用者」という。）が研修室等を利用することができなくなったときは、前条第3項に規定する承諾書その他指定管理者が必要と認める書類を添えて、直ちにその旨を文書で指定管理者に届け出なければならない。

2 利用者が利用の承諾の内容を変更して研修室等を利用するときは、指定管理者の承諾を受けなければならない。この場合における承諾の手続きは、前条の規定を準用する。

(一部改正〔平成20年教委規則17号〕)

(利用権譲渡等の禁止)

第4条 利用者は、その利用に関する権利を他人に譲渡し、又は利用の承諾を受けた施設を転貸してはならない。

(一部改正〔平成20年教委規則17号〕)

(特別利用の承諾)

第5条 条例第6条第2項の考古資料館資料の撮影、模写、模造等（以下「特別利用」という。）を行おうとする者は、徳島市立考古資料館特別利用承諾申請書を指定管理者に提出しなければならない。

2 指定管理者は、特別利用を承諾したときは、徳島市立考古資料館特別利用承諾書を交付するものとする。

(一部改正〔平成20年教委規則17号〕)

(手続き等の準用)

第6条 第3条及び第4条の規定は、考古資料館資料の特別利用について準用する。この場合において、第3条第2項中「前条」とあるのは「第5条」と読み替えるものとする。

(一部改正〔平成20年教委規則17号〕)

(考古資料館資料の館外貸出し)

第7条 考古資料館資料は、館外への貸出しをしない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りではない。

(1) 博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館及び同法第31条に規定する博物館に相当する施設に対し貸し出す場合

(2) その他、教育委員会が特に認めた者に対し貸し出す場合

(一部改正〔平成20年教委規則17号・令和5年6号〕)

(損傷等の届出)

第8条 考古資料館の施設、附属設備又は考古資料館資料を滅失し、損傷し、又は汚損した者は、直ちにその旨を係員に届け出るとともに、徳島市立考古資料館施設等滅失・損傷・汚損届を指定管理者に提出しなければならない。

(一部改正〔平成20年教委規則17号〕)

(入館者の遵守事項)

第9条 考古資料館の入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 考古資料館の施設、設備又は考古資料館資料をき損し、又は汚損しないこと。
- (2) 他の入館者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 許可を受けずに考古資料館資料の撮影、模写等をしないこと。
- (4) その他指定管理者が指示する事項

(一部改正〔平成20年教委規則17号〕)

(考古資料館協議会の役員)

第10条 条例第16条に規定する徳島市立考古資料館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、協議会の委員(以下「委員」という。)の互選により決める。
- 3 会長及び副会長の任期は、委員としての在任期間とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 会長は、会務を総理する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(一部改正〔平成20年教委規則17号・令和3年10号〕)

(協議会の会議)

第11条 協議会の会議(以下「会議」という。)は会長が招集するものとする。

- 2 会議は毎年2回開催する他必要に応じて臨時会を開催するものとする。
- 3 会議は、委員の2分の1以上が出席しなければ開くことができない。
- 4 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(一部改正〔平成20年教委規則17号〕)

(書面による審議)

第12条 前条第3項の規定にかかわらず、会長は、重大な感染症のまん延防止措置の観点から又は災害その他やむを得ない事由により会議を招集することが困難であると認める場合において、必要があると認めるときは、書面による審議を行うことができる。

- 2 前条第4項の規定にかかわらず、書面による審議における協議会の議事は、委員の過半数が当該書面による審議に参加した上で、当該参加した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(追加〔令和3年教委規則10号〕)

(委任)

第13条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(一部改正〔平成20年教委規則17号・令和3年10号〕)

附 則

この規則は、平成10年10月1日から施行する。ただし、第2条・第3条・第4条・第5条・第6条・第7条・第8条・第9条・第10条・第11条・第12条・第13条及び第14条の規定については、平成10年11月21日から施行する。

附 則 (平成20年6月30日教委規則第17号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (令和3年5月24日教委規則第10号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (令和5年3月28日教委規則第6号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

書式

徳島市立考古資料館研修室等利用承諾申請書

(第2条第1項関係)

徳島市立考古資料館研修室等利用承諾申請書 令和 年 月 日 徳島市立考古資料館長 殿 申請者 住 所 氏 名 (法人、団体等の場合は、その名称及び代表者氏名) 電 話 番 徳島市立考古資料館の研修室等を次のとおり利用したいので、申請します。		
利 用 目 的		
利用予定人数	人	
研修室利用日時	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで	
付 属 設 備 利 用 日 時	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで	
使用する付属設備	<input type="checkbox"/> ポータブルスピーカー (ワイヤレスマイク 2 台付) [無償] <input type="checkbox"/> 液晶テレビ [有償 100 円] <input type="checkbox"/> VHS ビデオデッキ [有償 100 円] <input type="checkbox"/> プロジェクター [有償 100 円] <input type="checkbox"/> スクリーン [有償 100 円]	
利 用 料 金 (記入不要)	研修室利用料金 円	合計 円
	付属設備利用料金 円	
備 考		

承 認		決	館 長	事 務 長	担 当
		裁			

利用申請書送付先 FAX : 088-642-6916 / メール : gakugei@tokushima-kouko.jp

1. 阿波国分寺跡とこれまでの発掘調査について

阿波国分寺跡は徳島市国府町西矢野に所在する。この地は鮎喰川の扇状地にあたり、その中でも気延山南麓と辰ヶ山北麓により形成された小規模な谷の開口部に位置している。周辺には縄文後期から弥生時代終末期にかけて断続的に集落が営まれた矢野遺跡や県内最古級の前方後円墳である宮谷古墳を有する気延山古墳群が存在し、徳島市でも有数の遺跡、文化財が分布する土地である。現在の阿波国分寺跡には四国遍路八十八カ所のうち第15番札所國分寺があり、生きた信仰の場として県内外の多くの人々に親しまれている。

阿波国分寺跡については戦前から地元の郷土史家らにより当該地に所在すると考えられていた。國分寺周辺の田畑で瓦が発見されているほか、國分寺西側の「塔の本」と呼ばれる地点からは環状の溝がある塔心礎が出土したと伝わり、該当資料は現在の國分寺境内に移設されている。

阿波国分寺跡の発掘調査の機運が高まったのは1976年の徳島県が行った緊急発掘調査による。雨落溝遺構や加工された凝灰岩が出土したと報告されており、南大門跡ではないかと推定された。伽藍に関する具体的な成果が確認されたことから、徳島市教育委員会を中心に構成された阿波国府跡発掘調査団による発掘調査が1978年より3ヶ年計画で行われた。阿波国分寺跡を重要遺跡と位置づけての調査であった。

第1次調査では「西地区」「南地区」「塔地区」「1～5トレンチ」を設定し、寺域の西限・南限・塔跡に関連する調査を行っている。第2次調査では「A地区」「B地区」「C地区」を設定し、寺域北限・中心伽藍・寺域南限に関連する調査を行っている。第3次調査では中心伽藍に関連する「D～F地区」、寺域東限に関連する「G地区」、寺域西限に関連する「H・I地区」を設定し調査を行っている。その他、現國分寺境内の塀や庫裡建設に関連する調査で設定した「J地区」「K地区」、市道拡張工事や排水路工事に伴う緊急調査として「宮谷地区」「山花・妙音寺線地区」がある。



図1 阿波国分寺跡発掘調査位置図

2. 調査の経緯

令和2年に徳島市立考古資料館常設展示のリニューアルに伴って収蔵庫内を整理したところ複数の遺物用コンテナや収穫用コンテナに収納された出土瓦を発見した。半数の出土瓦には紙製の荷札を転用した遺物取り上げラベルが入っており、ラベルの記述から阿波国分寺跡より出土したものであることが確認できた。

展示だけでなく阿波国分寺跡出土資料として様々な機会でも今後活用できるようにするため、そして阿波国分寺跡出土資料として資料価値を維持することで将来的に考古学研究による新知見を得る可能性を残すため阿波国分寺跡出土品の再整理として令和4年4月より2ヶ年を予定して活動を開始した。

本活動は当館主任学芸員の村田昌也と学芸員の大栗美菜が主体として行ったが、考古資料館ボランティアも活動に参加していただいた。活動に参加していただいた考古資料館ボランティアは以下のとおりである。

(50音順・敬称略)

大平昌代 武市義雄 多田勝 原田史郎 松下仁美

3. 令和4年度の活動内容

- 4月29日(金・祝) 瓦を収納しているコンテナ数及び遺物取り上げラベルの確認 ボランティア5人
- 4月30日(土) 瓦を収納しているコンテナ数及び遺物取り上げラベルの確認 ボランティア4人
- 5月31日(火) 資料数の確認、洗浄及び劣化した袋の取り換え ボランティア3人
- 6月21日(火) 資料数の確認、洗浄及び劣化した袋の取り換え、図面の確認 ボランティア3人
- 7月29日(金) 資料数の確認、洗浄及び劣化した袋の取り換え、メモ写真の撮影 ボランティア2人
- 8月20日(土) 資料数の確認、洗浄及び劣化した袋の取り換え、図面の整理 ボランティア3人
- 9月17日(土) 洗浄及び劣化した袋の取り換え、メモ写真の撮影 ボランティア3人
- 9月27日(火) 洗浄及び劣化した袋の取り換え、メモ写真の撮影 ボランティア3人
- 10月15日(土) 注記の確認及び劣化したラベルを耐水紙を用いたラベルに新調、注記のみの瓦は注記に基づいたラベルを作成 ボランティア2人
- 10月25日(火) 注記の確認及び劣化したラベルを耐水紙を用いたラベルに新調、注記のみの瓦は注記に基づいたラベルを作成、状態の良い瓦の抽出 ボランティア2人
- 11月19日(土) 范傷確認やハンズオンでの展示に活用できる3Dデータの作成実験 ボランティア1人
- 1月19日(木) ラベルはあるものの注記の無い瓦について注記作業
- 1月20日(金) ラベルはあるものの注記の無い瓦について注記作業
- 1月21日(土) ラベルはあるものの注記の無い瓦について注記作業
- 1月22日(日) ラベルはあるものの注記の無い瓦について注記作業
- 1月26日(木) 状態の良い資料について写真撮影、拓本作業
- 2月2日(木) 状態の良い資料について写真撮影、拓本作業
- 2月3日(金) 状態の良い資料について写真撮影、拓本作業
- 2月18日(土) タグに基づき、出土区画ごとに資料を仕分け ボランティア4人
- 3月18日(土) タグに基づき、出土区画ごとに資料を仕分け ボランティア3人
- 3月28日(火) リストの作成、再整理用の個体番号の割り当て、発掘調査図面の確認
- 3月29日(水) リストの作成、再整理用の個体番号の割り当て、発掘調査図面の確認



整理作業の様子①



整理作業の様子②

4. 令和4年度の成果について

令和4年度の活動において文様や形式を特定できる軒丸・軒平瓦として267点を抽出した。『新修国分寺の研究』第5巻上に記された集計表によると336点に及ぶ様々な軒平瓦(189点)と軒丸瓦(147点)が阿波国分寺跡から出土していることが見て取れる。なお抽出された軒平瓦や軒丸瓦がこの中に含まれるか否かについては不明である。出土の割合が先述の集計表に見られる傾向と似ていることから、集計にあたって今回の出土瓦が含まれている可能性がある。

今回の再整理によって「L区」または「南門道路」の記載あるいはその両方を併記した遺物取り上げラベルを伴う出土瓦を24点確認できた。いずれの資料も1987年5月から6月に取り上げられていることから「L区」と称された調査区と「南門道路」と称された調査区は同じ調査区であると考えられる。南門道路として記された図面からは、当該調査区が第1調査南地区第1トレンチ西側に隣接する地域であることがわかる。また出土状況図からは瓦だまりの存在も確認できる。

5. 令和5年度の活動について

令和4年度の活動では、主に出土瓦が持つ情報の保全のための活動が主たる内容になった。令和5年度はこれら出土瓦の活用に向けた活動に力点を置いていきたいと考えている。これまで考古資料館では阿波国分寺跡出土の瓦について展示や調査研究において遺存状態の良いごく限られた数の瓦しか扱ってこなかった。これはひとえに「それ以外の出土瓦について把握していなかった」ことに起因している。今回の再整理活動を通して抽出した出土瓦については図化や写真撮影などの資料化にかかる活動を中心に行い、それらの成果については阿波国分寺跡などの研究に活用できるよう公開する予定である。また企画展での展示など広く市民の目に留まる機会を設け地元の文化財の活用にかかる活動も行っていく。

参考文献

- 天羽利夫・一山典 1987 「阿波」『新修国分寺の研究』第5巻上 北海道
徳島県教育委員会 1978 『徳島県文化財調査概報 1976年度』
徳島市教育委員会 1979 『阿波国分寺跡第1次調査概報-1978年度-』 徳島市埋蔵文化財調査報告書第4集
徳島市教育委員会 1980 『阿波国分寺跡第2次調査概報-1979年度-』 徳島市埋蔵文化財調査報告書第7集
徳島市教育委員会 1981 『阿波国分寺跡第3次調査概報-1980年度-』 徳島市埋蔵文化財調査報告書第9集
徳島市教育委員会 1981 『阿波国分寺展-出土遺物展-』
徳島市教育委員会 1982 『歴史時代の徳島市-阿波の古瓦-』 埋蔵文化財資料展

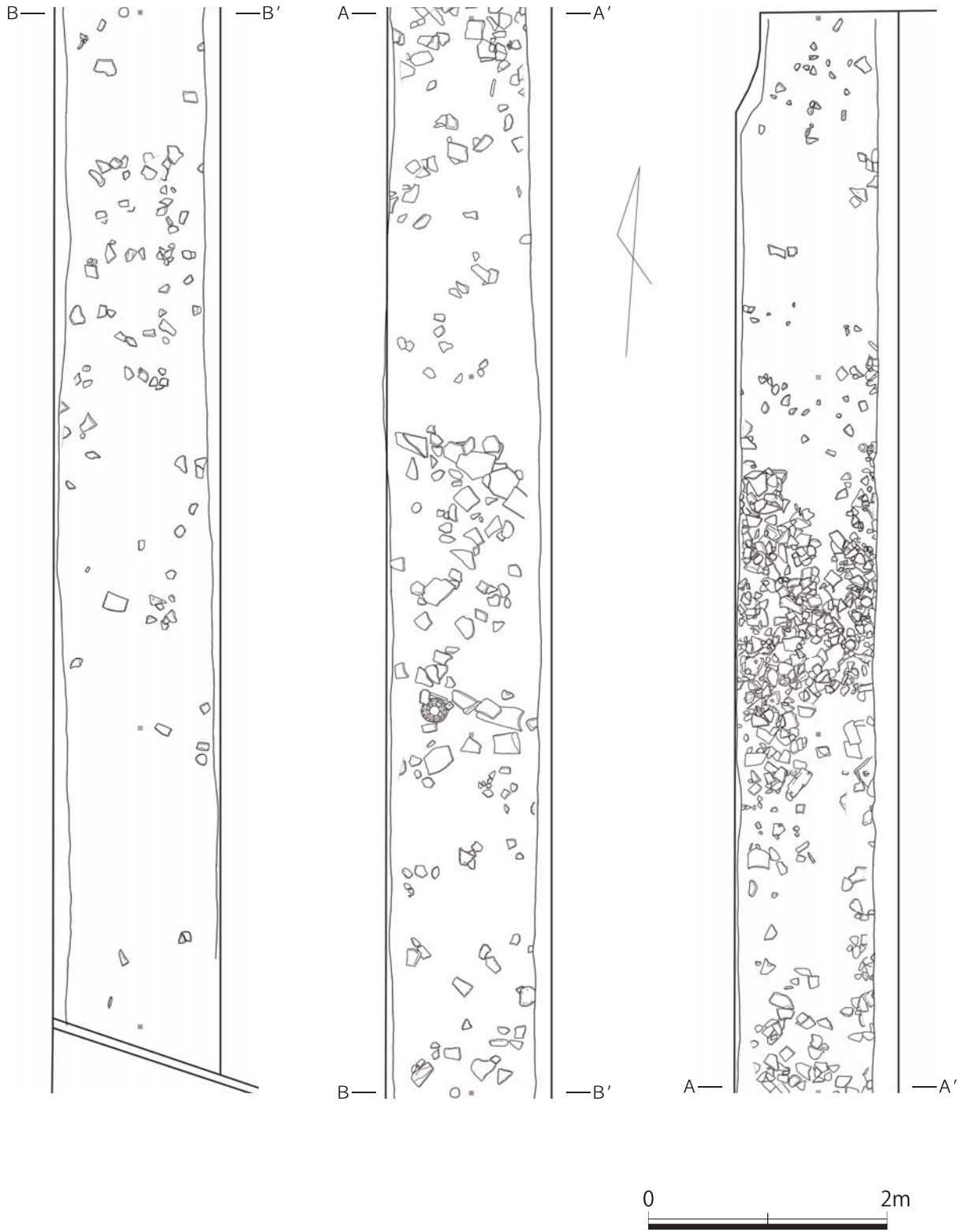


图2 L区平面图 (1/50)

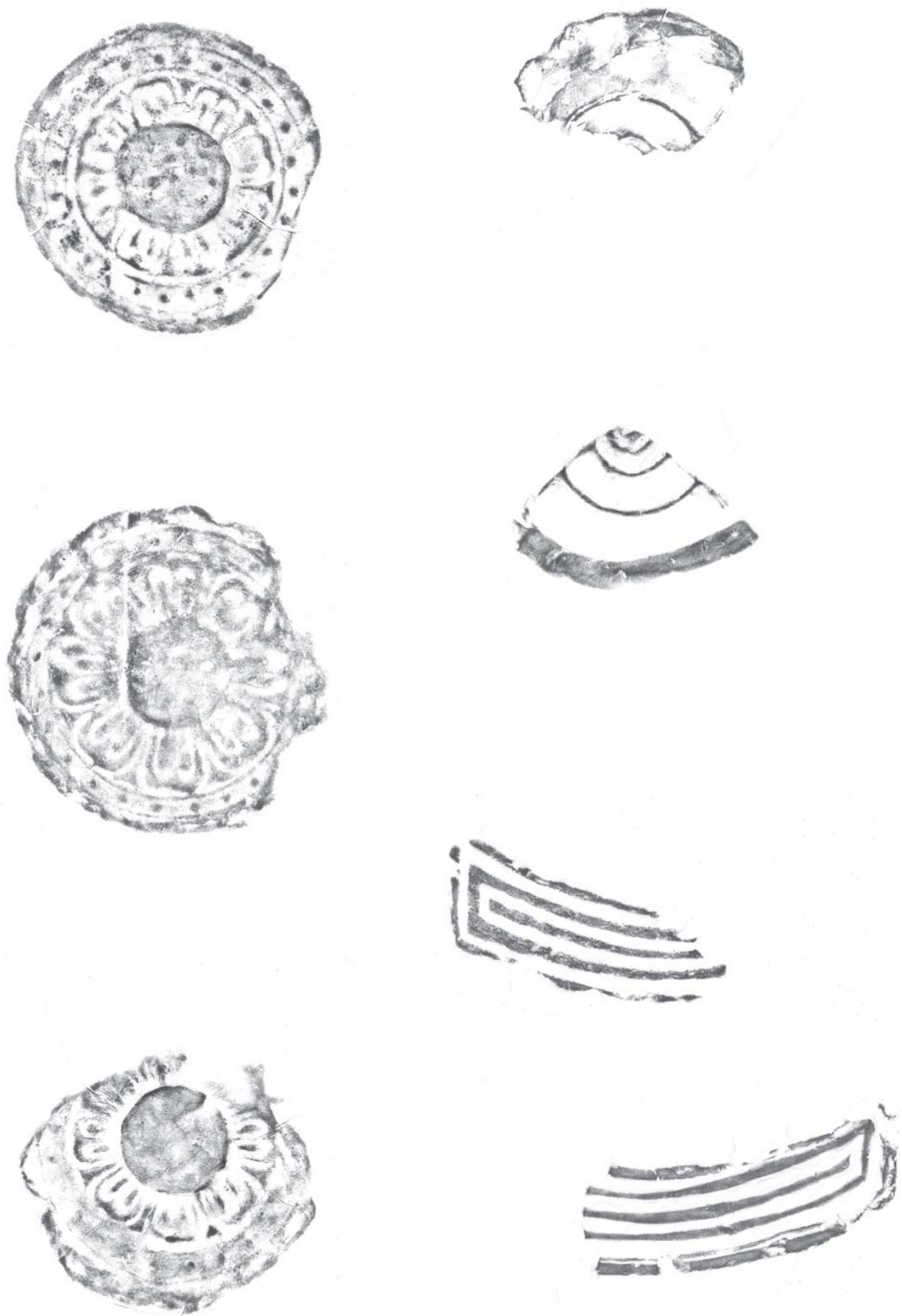


图3 L区出土瓦拓影(1/3)

徳島市立考古資料館年報
第25号（令和4年度）

発行年月日 令和5(2023)年8月

編集・発行 徳島市立考古資料館
徳島市国府町西矢野10-1
TEL 088-637-2526 FAX 088-642-6916
URL <http://tokushima-kouko.jp>

印刷・製本 グランド印刷株式会社

表紙写真 軒丸瓦 阿波国分寺跡出土